

# 北海道議会時報

平成7年第2回定例会



北海道議会事務局

(表紙写真)

旧函館区公会堂および元町公園周辺 (函館市)

この公会堂は、明治43年に建てられた洋風建築物で、昭和49年に国の重要文化財に指定されている。その後、保存修理工事が行われ、現在、社会教育施設として利用されている。

元町公園はこの下手に位置しており、公会堂をはじめ園内にある歴史的建造物を生かした整備がなされ、都市公園として市民に利用されている。

この周辺は伝統的建造物群保存地区になっており、洋風・和風・和洋折衷の建物が建ち並び、坂道の石畳などと融合している。そして、これらが函館の歴史と文化を实によく醸し出し、訪れる人々を魅了している。

(函館市提供)

—北海道まちづくり100選大賞から—

…… も く じ ……

第 2 回 定 例 会

概 要	1
本 会 議	2
提 出 案 件	14
意 見 書	17
請 願 ・ 陳 情	23

委 員 会 の 動 き

議会運営委員会	24
常 任 委 員 会	27
特 別 委 員 会	32
総合開発調査特別委員会	
産炭地域振興対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
交通安全対策特別委員会	
地方分権・行政改革問題調査特別委員会	
予 算 特 別 委 員 会	35

資 料

第17回参議院議員通常選挙結果	43
-----------------	----

6・7月のメモ

注 企業会計決算特別委員会(審査終了後一括掲載)

# 議 会 日 誌

## ▶ 6 月

- |        |  |        |  |
|--------|--|--------|--|
| 6日(火)  | 各常任委員会   |        | 企業会計決算特別委員会(正副委員長の互選)  |
| 7日(水)  | 総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、交通安全対策特別、地方分権・行政改革問題調査特別各委員会    | 11日(火) | 予算第1・第2各分科会(各部所管審査)  |
|        |  | 12日(水) | 予算第1・第2各分科会(各部所管審査)  |
| 16日(金) | 議会運営委員会  | 13日(木) | 予算特別委員会(総括質疑)  |
| 22日(木) | 各常任、議会運営、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、交通安全対策特別、地方分権・行政改革問題調査特別各委員会    | 14日(金) | 予算特別委員会(総括質疑、意見調整、議案等可決)<br>各常任、総合開発調査特別、産炭地域振興対策特別、北方領土対策特別、交通安全対策特別、企業会計決算特別各委員会                             |
| 23日(金) | (第2回定例会開会)<br>議会運営委員会<br>本会議(会期決定<25日間>、道政執行方針及び提案説明、教育行政執行方針説明、意見案1件可決) | 17日(月) | 議会運営委員会<br>本会議(各委員長報告、議案等可決、追加提案説明、公安委員会委員・監査委員・人事委員会委員・収用委員会委員及び収用委員会予備委員・公害審査会委員の選任同意、意見案8件可決)<br>(第2回定例会閉会) |
| 29日(木) | 議会運営委員会<br>本会議(代表質問<1人>)   |        |  |
| 30日(金) | 議会運営委員会<br>本会議(代表質問<2人>)   |        |  |

## ▶ 7 月

- |       |  |
|-------|--|
| 3日(月) | 議会運営委員会<br>本会議(代表質問<2人>)   |
| 4日(火) | 議会運営委員会<br>本会議(一般質問<9人>)   |
| 5日(水) | 議会運営委員会<br>本会議(一般質問<8人>)   |
| 6日(木) | 議会運営委員会<br>本会議(一般質問<7人>)   |
| 7日(金) | 議会運営委員会<br>本会議(一般質問<3人>、追加提案説明、予算特別、企業会計決算特別各委員会設置)<br>予算特別委員会(正副委員長の互選、2分科会設置)<br>予算第1・第2各分科会(正副委員長の互選) |

# 第 2 回 定 例 会

## 総額2,467億7,000万円余の補正予算可決

### ▶北海道行政手続条例案を可決◀

#### 概 要

- ① 改選後、最初の政策予算等を審議する第2回定例会は6月23日に招集され、会期を7月17日までの25日間と決定した後、総額2,467億7,000万円余の平成7年度各会計補正予算等35件の議案上程と、知事の道政執行方針及び提出議案に対する説明並びに教育長の教育行政執行方針に関する説明。  
次に、稲作経営の安定に関する意見案を議題とし、討論、採決の結果、異議なく原案可決。議案調査のため、6月26日から6月28日まで休会することに決定して、延会。
- ② 休会明けの6月29日から代表質問に入ったが、釣部 勲議員（自民）から議事進行発言があり審議が中断、そのまま延会となった。
- ③ 6月30日に審議が再開され、7月3日、代表質問を終結。
- ④ 7月4日から一般質問に入った。
- ⑤ 7月5日は、知事から追加提出議案について説明があつて、一般質問を継続。
- ⑥ 一般質問は7月7日に終結し、直ちに**予算特別委員会及び企業会計決算特別委員会を設置**。  
次に、議案等を各委員会に付託し、それらの付託議案審査のため、7月10日から7月14日まで休会することに決定して、散会。
- ⑦ **予算特別委員会**は、7月7日に正副委員長互選を行い、2分科会を設置。7月11日から各部所管の審査に入り、7月13日に終了。同日、各分科委員長報告の後、総括質疑に入り、7月14日終結。その後意見調整を行い、付託議案をいずれも原案可決と決定。なお、審査の経緯に鑑み、新しい長期計画の策定及び今後の道政運営について、意見を付すことを決定した。
- ⑧ 会期最終日の7月17日は、各付託議案に対する委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも**原案可決**。  
次に、北海道公安委員会委員等人事案件5件が追加提案され、知事から提案説明の後、採決の結果、いずれも同意議決。  
次に、産業の空洞化防止対策に関する意見案について、討論、採決の結果、原案可決。  
次に、寒冷地手当の現行支給水準維持を求める意見案ほか6件の意見案について、討論の後、採決の結果、いずれも異議なく原案可決。  
次に、平成6年度各事業会計決算の閉会中継続審査、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定し、開会以来25日目の**7月17日**に閉会した。
- ⑨ **提出案件の議決状況**は次のとおりである。

提出者	提出件数	議 決 の 状 況				
		原案可決	同意議決	報告のみ	継続審査	計
知 事	81	35	5	36	5	81
議 員	9	9	—	—	—	9
計	90	44	5	36	5	90

# 本 会 議

○6月23日(金) 午前10時8分開議、中川義雄議長、平成7年第2回定例会の開会を宣し、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から7月17日までの25日間と決定。

日程第3 議案第1号ないし第35号を議題とし、知事から道政執行方針及び提出議案について説明があり、次いで、教育長から教育行政執行方針について説明。

日程第4 意見案第1号を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、討論に入り、萩原信宏議員(共産)から賛成討論があつて、討論終結。簡易採決の結果、異議なく原案のとおり可決。

その後、議案調査のため、6月26日から6月28日まで休会することに決定して、午前11時37分散会。

○6月29日(木) 午前10時50分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第35号を議題とし、代表質問に入り、

酒井 芳秀議員(自民)から、



## 1 知事の政治姿勢について

- ・道政運営の基本姿勢
- ・道政執行方針の基本姿勢及び道政執行方針における過疎の取扱い
- ・農林水産業振興策に対する見解
- ・二次産業などの振興に対する見解
- ・女性室の設置目的、その所掌事務及びその在り方
- ・民間副知事の登用に対する見解

- ・本庁機構の改革に対する見解
- ・「室」を新設したことに対する見解
- ・今回の人事異動に対する見解
- ・支庁機能充実に向けての取組み
- ・千歳川放水路事業に対する見解
- ・道職員不祥事発覚後の道職員への措置、調査の有無、処分及び是正に向けての知事の決意
- ・苫東開発の今後の在り方に対する見解
- ・国際熱核融合実験炉などの本道への誘致に係る対応

## 2 景気浮揚対策について

- ・本道経済の現状と見通し
- ・景気対策関連予算に対する見解
- ・公共事業などの予算減少に対する見解
- ・道内中小企業の窮状の認識及びその救済の取組み
- ・道内中小企業の育成に向けての取組み
- ・新規卒業者就職難の対応などの公約に対する取組み
- ・新規成長分野産業振興ビジョンにおける具体的内容
- ・新たな雇用の創設に結び付く産業の育成や企業の誘致のための助成制度に対する見解

## 3 農林水産業問題について

- ・農林水産業振興の基本的考え方
- ・土地基盤整備事業の道費上置き措置の拡充に対する取組み
- ・北海道農業振興条例制定の要望に対する見解

## 4 福祉問題について

- ・本道における福祉の現状についての評価
- ・福祉社会づくりの基本的な考え方及びその具体策
- ・痴呆性老人対策推進計画に対する見解

## 5 教育問題について

- ・本道教育の現状についての認識及び課題解決に取り組む所信
- ・全国のいじめ実態調査の分析
- ・いじめ問題のこれまでの対策及びその成果
- ・スクールカウンセラー制度の導入計画
- ・教育関係の知事公約に関する教育長の見解

## 6 公安問題について

- ・警察官の増員問題への取組み
- ・若年層の交通死亡事故に対する見解、指導取締まりの実施状況とその成果及び今後の課題
- ・シートベルト着用についての道警察の対応

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁があって、午後零時40分休憩。午後4時4分再開し、同議員から再質問、知事から答弁。釣部 勲議員(自民)から議事進行発言があり、午後4時48分休憩。午後4時50分再開し、本日の本会議は議事進行の都合によりこの程度にとどめ延会することに決定して、午後4時51分延会。

○6月30日(金) 午前10時8分開議、諸般の報告の後、議事進行の都合により、直ちに休憩。午後1時43分再開し、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第35号**を議題とし、代表質問を継続。知事から、昨日の酒井芳秀議員の再質問に対する補足答弁があり、同議員から発言。

神本 三也議員(社会)から、



- 1 知事の政治姿勢について
  - ・知事公約実現に向けた決意
  - ・開発予算に望む道としての基本的姿勢
  - ・侵略行為や植民地支配など、過去の歴史に対する認識及び戦後50年に当たっての今後の取り組み
  - ・道政改革に対する見解
  - ・次期長期計画のスタイル、道民及び市町村の意向把握に係る見解
- 2 幌延貯蔵工学センター問題について
  - ・高レベル放射性廃棄物の貯蔵・研究施設の立地に関する認識
  - ・幌延貯蔵工学センター建設計画に対する見解
- 3 農業問題について
  - ・ウルグアイ・ラウンド農業合意を踏まえた対策大綱に係る関連対策についての基本方針
  - ・食糧自給の確保における本道農業の位置付け
  - ・農家の体質強化のための諸課題に対する見解
  - ・高付加価値に向けた技術力の向上のための取り組み
  - ・21世紀農業者支援条例の早期制定に向けての

見解

- 4 水産問題について
  - ・国連海洋法条約の批准に関する基本的認識
  - ・本道水産業の振興を図るための国への要請
- 5 森林・みどり環境の充実について
  - ・森林の公益的機能に対する取組み
  - ・森林の整備に対する見解
  - ・道有林野事業に対する見解
  - ・社会資本としての森林整備への具体的取組み
- 6 高齢者の在宅福祉の充実について
  - ・在宅福祉に対する知事の認識
  - ・在宅福祉対策事業に対する見解
  - ・住宅改善サービスに関する施策に対する見解
- 7 環境問題について
  - ・環境基本条例制定に向けた取組み
  - ・士幌高原道路建設に対する自然環境保全審議会答申中の付帯意見の取扱い及び一部自然保護団体への対応
- 8 教育問題について
  - ・教育を取り巻く現状と課題に対する見解
  - ・次期教育長期総合計画策定に当たっての見解
  - ・公立高等学校適正配置計画のための意見集約のプロセス
  - ・公立高等学校適正配置の課題と見通し

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により、午後3時25分休憩。午後3時44分再開し、

水野 重男議員(21'道民)から、



- 1 知事の政治姿勢について
  - ・国会の戦後50年決議に対する見解
  - ・横路道政検証の必要性に対する見解
  - ・戦略プロジェクトの見直しに対する見解
- 2 道庁改革について
  - ・公約の重みとその認識
  - ・支庁機能の充実と行革推進及び14支庁体制の在り方に対する見解
  - ・外郭団体の見直しに対する見解及び第三セク

- ターなどの改善指導状況
- 3 過疎地域の振興対策について
    - ・過疎地域活性化計画の推進方法
    - ・老人保健福祉計画と福祉のまちづくり条例との関係
    - ・教育環境の整備に対する見解
    - ・教育環境の創出に関する知事公約に対する教育長の見解
    - ・高等学校の学級編成に対する見解
  - 4 地震災害時等の危機管理体制について
    - ・本道における危機管理体制の整備及び総合指令体制の在り方に対する見解
  - 5 農業問題について
    - ・新農業基本法制定の見通し
    - ・北海道農業振興条例制定の趣旨
    - ・ガット合意による国の農業農村整備緊急対策事業費等に係る問題点への対処
    - ・転作の実施状況
    - ・道産米の販売戦略

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、あらかじめ会議時間を延長し、知事から答弁があって、午後4時56分延会。

○7月3日(月) 午後1時48分開議、諸般の報告の後、議長から、元議員中野与作氏の逝去(6月27日)について弔意を表した旨報告。

日程第1 議案第1号ないし第35号を議題とし、代表質問を継続。

伊藤 武一議員(公明)から、



- 1 知事の政治姿勢について
  - ・新道民党の理念と今後の展開
  - ・公約の実現に向けての今後の取り組み
  - ・道政改革に対する見解
  - ・地方分権推進法に対する評価及び地方分権の推進に向けての取り組み
  - ・北海道新長期総合計画戦略プロジェクトの予

- 算計上の考え方及び戦略プロジェクトなどの見直しの方向
- ・平和宣言に対する見解
  - 2 本道経済の活性化について
    - ・本道経済の活性化への取り組み
    - ・本道工業の振興方策
  - 3 農業問題について
    - ・本道農業の現状と振興方策
    - ・農家負担の現状に対する認識及び抜本的な軽減対策
  - 4 水産問題について
    - ・本道水産業の今後の展開に対する見解
    - ・公約に対する具体的取り組み
    - ・新マリノベーション事業の今後の取り組み
  - 5 保健医療問題について
    - ・本道の保健医療の現状認識と総合的対策に対する見解
    - ・市町村保健センターの整備及び支援方策
    - ・精神保健対策の現状と今後の取り組み
    - ・地域精神医療確保対策事業に対する基本的な考え方及び今後の事業拡大への取り組み
  - 6 福祉問題について
    - ・高齢化社会における本道の福祉ビジョン
    - ・市町村老人保健福祉計画への支援策
    - ・有償介護ボランティア活動への支援策
  - 7 環境問題について
    - ・地球環境問題についての認識及び問題解決に向けた今後の取り組み
    - ・河川や湖沼等の環境汚染に対する認識とその防止対策
    - ・春採湖の汚染改善方策
    - ・道立自然公園の施設整備に係る取り組み
  - 8 教育問題について
    - ・本道教育の現状と課題についての認識
    - ・北海道新教育長期総合計画のこれまでの成果及び今後の見通し
    - ・次期教育計画に対する見解
    - ・総合学科の導入に対する見解
    - ・特殊教育に対する認識
    - ・養護学校高等部設置要望への対処
    - ・重度・重複障害児の教育機会確保に対する見解
    - ・道立養護学校の課題・問題についての認識及び今後の改善策

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行の

都合により、午後3時5分休憩。午後3時28分再開し、

木村 澄男議員（新道政）から、



- 1 知事の政治姿勢について
  - ・新道民党の内容
  - ・現実的改革の理念と改革を要する課題
- 2 知事公約について
  - ・道政改革民間フォーラム設置に当たっての基本的考え方及び今後の取組み
  - ・地域政策室の設置目的及び企画室との違い
  - ・道内市町村の財政状況の認識及びその強化への取組み
- 3 道政上の諸課題について
  - ・本道農業の現状に対する認識
  - ・総合的な農業生産構想の策定による環境整備
  - ・農業担い手対策の位置付け
  - ・エンゼルプランの内容と地域への効果
  - ・北海道エンゼルプランの位置付けと策定スケジュール
  - ・児童環境づくり推進機構の整備に対する見解
  - ・環境保全に取り組む人づくりに対する見解
  - ・本道の総合交通体系に対する見解
  - ・本道における国際化の現状に対する認識と今後の取組み
  - ・北方圏構想の意義と今後の取組み
- 4 教育行政について
  - ・教育行政の現状に対する認識
  - ・公立高等学校の適正配置への取組み
  - ・道立高校における教育設備の充実に係る取組み
  - ・道立美術館の作品収集方針
  - ・美術館の活用方策

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、午後4時36分延会。

○7月4日(火) 午前10時25分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第35号を議題とし、一般質問に入り、

佐藤 寿雄議員（自民）から、

- 1 丘珠空港について
  - ・札幌市長との懇談の内容
  - ・丘珠空港のジェット化の必要性
  - ・丘珠空港関連調査の内容と結果
  - ・札幌市が実施した騒音調査の結果
  - ・移転対象戸数及びその費用負担
  - ・住民対応のスケジュール等今後の進め方
  - ・コンピューター構想での丘珠空港の位置付け
  - ・コンピューター構想実現への取組み
- 2 札幌圏の産業廃棄物について
  - ・札幌圏産業廃棄物処理管理計画の趣旨、その具体的内容及び今後のスケジュール
  - ・北海道産業廃棄物処理計画と札幌圏産業廃棄物処理管理計画の関連性

等について質問があり、知事及び土木部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

星野 高志議員（社会）から、

- 1 丘珠飛行場問題について
  - ・報道された知事発言の真意と札幌市との関わり
  - ・丘珠空港のジェット化に対する見解
  - ・次期の長期総合計画における総合交通体系
  - ・慎重な方針の下での丘珠空港の整備
  - ・丘珠空港ジェット化の際の同空港と新千歳空港との機能分担

等について質問があり、知事から答弁。

野村 義次議員（自民）から、

- 1 福祉問題について
  - ・高齢者福祉対策に対する基本認識
  - ・北海道高齢者保健福祉計画の基本的な考え方
  - ・北海道高齢者保健福祉計画の進捗状況及び今後の見通し
  - ・北海道高齢者保健福祉計画推進における保健・医療と福祉の連携に対する見解
  - ・在宅福祉の施策展開
  - ・高齢者の生きがい対策

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

蝦名 清悦議員（社会）から、

- 1 アイヌ民族に関する問題について
  - ・観光資料におけるアイヌ民族の歴史や文化の紹介に関する道の指導

- ・道外の人たちに対するアイヌ文化等の紹介の現状
  - ・アイヌ民族の歴史や文化の児童生徒への学習指導方法
- 2 高齢者の生きがい対策について
    - ・高齢者の生きがい対策に対する認識
    - ・シルバー人材センター、高齢者事業団の活動状況
    - ・シルバー人材センター、高齢者事業団の未設置市町村に対する対処方法
    - ・老人大学の拡充及び高齢者スポーツへの助成に対する見解
    - ・高齢者の交通安全対策への取り組み

等について質問があり、知事、生活福祉部長及び教育長から答弁。議事進行の都合により、午後零時14分休憩。午後1時23分再開し、

**伊東 良孝議員（自民）** から、

- 1 国連海洋法条約批准後の本道水産業への対応について
  - ・韓国漁船の操業に関する認識
  - ・韓国漁船の操業実態及び想定される韓国漁船の総漁獲量
  - ・韓国漁船問題に対する知事の決意及び今後の防止活動
- 2 高等養護学校の現状と重度重複高等養護学校の検討費について
  - ・高等養護学校の現状と今後の対策
  - ・検討費の調査内容
  - ・通学可能な高等部の設置及び分校化に対する見解
  - ・モデル校の設置に対する見解
  - ・高等養護学校卒業後の進路指導の課題と対策

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。

**岡田 俊之議員（社会）** から、

- 1 農業振興対策について
  - ・農業負担軽減支援特別資金の活用方法
  - ・クリーン農業の推進対策
- 2 水産業の振興について
  - ・漁港整備の取り組み
  - ・栽培漁業推進の取り組み
- 3 林業振興対策について
  - ・森林機能の充実に向けた取り組み
  - ・広葉樹の植林や育成に対する見解

等について質問があり、知事及び水産部長から答弁。

**水城 義幸議員（自民）** から、

- 1 知事公約について
  - ・一村一品運動の評価及び新一村一品運動の内容
  - ・本道における日本海地域の現状認識
  - ・日本海地域の振興施策の成果及び今後の抜本的対策
- 2 北海道の防災体制について
  - ・北海道地域防災計画見直しの具体的内容とその終了時期
  - ・道内における各市町村の相互応援体制構築に対する見解
  - ・消防防災ヘリコプターの導入と活用及び札幌市以外の地域への配備に対する見解
- 3 北海道の教育問題について
  - ・近年の新規高等学校卒業者の就職状況の推移
  - ・各学校段階及び道教委段階の新規高等学校卒業生就職問題への取り組み
  - ・公立高等学校長の学校経営に果たす役割
  - ・公立高等学校長登用の基本方針
  - ・公立高等学校長の一校当たり在職年数の現状と在職年数の長期化に対する見解

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、議事進行の都合により、午後2時57分休憩。午後3時37分再開し、

**板谷 實議員（21'道民）** から、

- 1 知事の歴史観、戦争観について
  - ・知事の戦争に対する歴史観
  - ・西洋諸国の国際行動に対する認識
  - ・日本一国性悪説に対する見解
- 2 道政執行方針及び公約について
  - ・今後の本道の人口の推移
  - ・人口減少時における新長期計画に対する見解
  - ・道庁機構のスクラップ・アンド・ビルドに対する見解
  - ・知事の教育に関する権限の有無
- 3 国際エアカーゴ基地構想について
  - ・新千歳空港滑走路延長の目途
  - ・新千歳空港の現状及び国際エアカーゴ基地構想の進展状況
  - ・24時間運用の活用と今後の取り組み
  - ・国際旅客便対策に対する見解
  - ・国際エアカーゴ基地構想の今後の取り組み
- 4 防災体制の強化について
  - ・地震観測強化地域への指定陳情の取扱い及び

- 地震予知連絡会への指定要請
- 5 苫小牧東部開発について
    - ・苫東開発の新計画内容に対する認識
    - ・苫東開発の新事業の進め方
    - ・苫東会社の経営状況に対する見解
    - ・苫東への巨大空港建設に対する見解
  - 6 教育問題について
    - ・中学校の進路指導と間口の決定に関する見解
    - ・国旗、国歌問題に対する基本的考え方及び取り組み方

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。あらかじめ会議時間を延長した後、同議員から再質問、知事から答弁。同議員から発言。

原田 裕議員（自民）から、

- 1 景観行政について
  - ・花のまちづくりへの取り組み
  - ・都市内における電線類の地中化への取り組み
- 2 公共事業の入札制度について
  - ・公共事業の入札制度改善への取り組み状況及び今後の対処方針
- 3 教育問題について
  - ・いじめ問題についての学校への指導及び学校の指導体制状況
  - ・いじめに対する学校以外の対策

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁があつて、午後5時15分延会。

○7月5日(水) 午前10時15分開議、諸般の報告の後、

日程第1 報告第37号ないし第41号を議題とし、知事から提案説明。

日程第1の報告第37号ないし第41号にあわせ、

日程第2 議案第1号ないし第35号を一括議題とし、一般質問を継続。

荒島 仁議員（公明）から、

- 1 本道経済の活性化について
  - ・中小企業の新分野進出への支援に対する取り組み
  - ・食品加工や家具などの工業の振興のための取り組み
  - ・中小企業者による新規開業等への支援に対する見解
- 2 農業問題について
  - ・認定農業者の対象と今後の認定の見通し及び認定のための農業者への指導

- ・認定農業者となり得ない農業者への対応
- 3 住宅都市行政について
    - ・道民のニーズに対応した住宅政策の今後の展望
    - ・住宅地審議会答申の受止め及び次期住宅建設5箇年計画に向けての取り組み
    - ・高齢者・身障者向け住宅の整備計画
  - 4 教育問題について
    - ・いじめ対策緊急会議における最終報告の認識
    - ・いじめの相談体制充実への取り組み

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。

竹内 英順議員（自民）から、

- 1 公的資金の導入による森林整備の促進について
    - ・森林整備の促進への今後の取り組み
  - 2 道産林の需要拡大について
    - ・間伐材等小径材の新しい用途開発
    - ・道立施設への木材の使用促進に対する見解
  - 3 森林整備の担い手対策の取り組みについて
    - ・若者の林業への新規参入に係る現状及びその促進対策
    - ・積極的な担い手対策としての今後の取り組み
  - 4 森林・林業教育の取り組み
    - ・子供達への森林・林業に係る教育方針
- 等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

滝口 信喜議員（社会）から、

- 1 空港整備について
  - ・空港需要概略調査の対象
  - ・新空港可能性に係る検討結果の開示時期
  - ・空港空白地域における空港建設及びジェット化の要望状況
- 2 噴火湾海域総合開発計画について
  - ・噴火湾地域についての認識及び新たな総合計画策定との関連におけるその将来展望
- 3 地方バス路線対策について
  - ・地方バスの現状と路線確保等の施策展開
  - ・廃止路線代替バス補助制度改正に伴う知事の基本的考え方及び補助の対象要件と運行形態
  - ・廃止路線代替バス等に関する連絡・協議の場の設置状況
  - ・高齢者の交通手段についての認識及び今後の考え方

等について質問があり、知事及び企画振興部長から答弁。議事進行の都合により、午前11時40分休憩。午後1時36分再開し、

本間 勲議員（自民）から、

- 1 農業問題について
  - ・本道農業の位置付け、役割及びその振興のための施策
  - ・不耕作農地の動向及び不耕作地解消・緑肥作物導入の取組み
  - ・担い手対策に係る諸制度充実への取組み
  - ・農場用廃プラスチックの現状と処理方策
  - ・都市と農村のコミュニケーションの促進に対する見解
  - ・ファームインに対する見解
  - ・農振法の手続改善への取組み

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

小原 葉子議員（社会）から、

- 1 外国人の無年金者対策について
  - ・外国人の無年金者対策に対する見解
- 2 女性行政について
  - ・女性室の調整機能に対する見解
  - ・新しく設置する女性政策の推進本部と従来の対策本部との違い及び推進本部の政策立案に対する見解
  - ・各種会議の委員等の公募制導入に対する見解
- 3 泊原発の使用済燃料の搬出について
  - ・泊原発の使用済燃料に係る輸送情報の非公開に対する見解
  - ・燃料輸送における防災体制に対する見解
- 4 道議会議員選挙における選挙公報について
  - ・選挙公報の無い理由
  - ・選挙公報の発行に対する見解

等について質問があり、知事及び選挙管理委員長から答弁。

丸岩 公充議員（自民）から、

- 1 予算項目の調査、研究、協議、委託等の事業について
  - ・調査検討事業の外部への委託及び庁外の専門家や有識者等から成る協議会などの諮問に対する見解
- 2 支庁長の権限強化と自主財源について
  - ・地域活性化推進事業費や地方振興奨励費補助金に対する見解
- 3 災害活動資機材の整備と地域の連帯について
  - ・防災用資機材の確保及び防災意識高揚に係る体制のための各自治体への指導に対する見解
- 4 痴呆性老人対策について
  - ・痴呆性老人問題の認識及びその当面の対策に

対する見解

- 5 外国語大学の新設について
  - ・国際化推進のための外国語大学の新設に対する見解

等について質問があり、知事から答弁。同議員から発言があって、議事進行の都合により、午後3時5分休憩。午後3時28分再開し、

伊藤 政信議員（社会）から、

- 1 文化振興について
  - ・道民の文化意識の変化・高揚についての認識
  - ・文化に関わる国際交流の推移
  - ・地方における文化振興のための組織の充実についての所見
- 2 森林環境の保全について
  - ・酸性雨問題に係る調査、研究の成果及び今後の取組み
  - ・森林の公有化施策の実績及び今後の取組み
  - ・大規模開発における森林保全に対する見解
- 3 貨物自動車輸送事業について
  - ・新規格車の通行できる指定道路に対する見解
  - ・融資制度の拡充に対する見解
  - ・貨物自動車の運賃状況の改善

等について質問があり、知事から答弁。

船橋 利実議員（自民）から、

- 1 廃棄物について
  - ・ごみの動向と課題
  - ・市町村の処理施設状況と今後の整備計画
  - ・今後のごみの処理方法
  - ・一部市町村が焼却施設を有しない理由
  - ・施設整備のための支援状況
  - ・道内市町村等のリサイクルへの取組状況
  - ・回収業者への道内市町村等の支援状況
  - ・地域資源リサイクル推進会議の状況
  - ・再生資源のリサイクル推進に向けた今後の道の取組み
- 2 教育問題について
  - ・英語指導助手の配置状況、今後の配置計画及び問題点
  - ・英語教員の配置状況及び養成状況
  - ・英語教育の到達目標
  - ・語学を身に付けた人材の育成の取組み
  - ・低年齢児からの外国語教育に対する見解
  - ・学校給食の将来像に係る見解
  - ・道内における中学校の学校給食の導入状況、未実施校の動向及び未実施の自治体への働き

かけ

等について質問があり、知事、保健環境部長及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁があって、午後4時45分延会。

○7月6日(木) 午前10時50分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第35号及び報告第37号ないし第41号を議題とし、一般質問を継続。

見延 順章議員(自民)から、

- 1 石狩湾新港に係る諸問題について
  - ・管理組合設立の経緯
  - ・今後の新港運営に対する認識
  - ・札幌市の参画に向けた関係市町との調整状況
  - ・小樽港との一体管理に関する結論
  - ・港湾計画に対する実績と今後の影響
  - ・大型船の入港に対する対処方法
  - ・21世紀の港湾としての整備に対する見解
  - ・検疫港指定の見通し
  - ・石狩湾新港背後地への企業誘致に対する見解
  - ・新港地域と札幌市間を結ぶ新交通機関の開発への取組み

等について質問があり、知事、商工労働観光部長及び土木部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

佐藤 英道議員(公明)から、

- 1 平和問題について
  - ・戦災実態の把握収集及び保管に対する見解
  - ・戦後50年に関連した事業の継続拡大に対する見解
  - ・平和問題に係る国際交流に対する見解
- 2 福祉問題について
  - ・介護時間貯蓄制度等の実施状況
  - ・介護時間貯蓄制度についての認識と支援のための今後の取組み
- 3 交通事故防止対策について
  - ・死亡事故の実態
  - ・交通死亡事故防止の取組み
  - ・救急蘇生法普及の取組み
  - ・緊急カード導入に対する見解

等について質問があり、知事及び生活福祉部長から答弁。

高橋 定敏議員(自民)から、

- 1 住宅都市行政に係る問題について
  - ・第7期住宅建設5箇年計画に対する見解
  - ・市町村住宅マスタープランの策定についての方針

- ・北方型住宅の建設普及のための方針
- ・住宅建設のコスト低減対策
- ・省エネルギー住宅などの研究成果等の活用方法
- ・活断層の分布状況及び既存建築物の耐震性
- ・建築物の震後対策
- ・下水道整備の現状と対応策
- ・過疎下水道代行事業に対する見解
- ・下水道普及促進に係る知事公約の実行計画
- ・建築工事環境改善推進事業の内容及び成果

2 教育問題について

- ・郷土に関する教育の方法
- ・青年の意識調査に対する見解
- ・中高生のアルコール飲酒等の防止方策

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁があって、議事進行の都合により、午後零時25分休憩。午後1時40分再開し、

段坂 繁美議員(社会)から、

1 地震災害に関する対策・対応について

- ・道のサハリン北部への援助状況及び今後の取組み
- ・地震の予知・観測体制に対する見解
- ・災害に備えた防災訓練の実施計画
- ・地域防災計画の見直しに対する見解

2 みどり環境の充実について

- ・十勝の防風林の現況と今後の整備

3 交通安全対策について

- ・北海道21世紀交通安全ビジョンの策定スケジュールと道民の意見反映
- ・同ビジョンの第6次北海道交通安全計画への反映方法

等について質問があり、知事及び総務部長から答弁。

加藤 和久議員(自民)から、

1 過疎対策について

- ・札幌市への人口集中に対する見解
- ・過疎地域などに対する政策
- ・後期北海道過疎地域活性化計画の評価
- ・下水道などの道代行事業の拡大に対する見解
- ・過疎地域などにおける広域的対応への取組み
- ・準中核都市等に対する取組み
- ・独立地方中小都市構想に対する見解

2 コミューター外の交通体系の整備について

- ・通勤圏外航空の実現に向けての決意と今後の取組み
- ・第7次空港整備五箇年計画への要望内容

- ・コンピューター航空の新たな取組み
- ・宗谷線の高速化に対する見解

### 3 保健所法の改正について

- ・法律改正の理由と国、都道府県及び市町村の役割分担に対する見解
- ・保健所の管轄区域に対する見解
- ・市町村保健センターへの財政支援状況
- ・小規模市町村に対する保健婦などの人材確保への支援状況
- ・保健所法改正に伴う条例改正のための今後のスケジュール

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から発言があって、議事進行の都合により、午後2時59分休憩。午後3時35分再開し、

**清水 誠一議員（自民）** から、

#### 1 新長計中間点検報告について

- ・戦略プロジェクトの見直しに対する見解
- ・四全総の総合的 point 検報告との整合性
- ・計画の進捗状況
- ・中間点検の実施理由
- ・点検結果の取扱い
- ・計画期間内の事業推進方法

#### 2 戦略プロジェクトについて

- ・進捗状況及び今後の取組み

#### 3 本道の人口について

- ・新長期計画の人口に対する見解
- ・道央複合都市圏の高度な機能の波及
- ・交流人口増加のための施策と今後の見通し

#### 4 本道の産業経済について

- ・産業構造全体としての状況と見通し
- ・農林水産業の振興に対する見解
- ・道政執行方針の「地域に密着した生活創造型産業の創出」の内容

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問があって、知事から答弁。同議員から再々質問があり、知事から答弁。会議規則第57条ただし書の規定による発言許可の後、同議員から発言。あらかじめ会議時間を延長して、

**中崎 昭一議員（自民）** から、

#### 1 戦後50年の問題について

- ・国会決議と知事の歴史観
- ・執行方針で戦後50年問題を取り上げた理由
- ・世界の各地域と結びつきを強めるというその内容

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から発言があって、午後5時13分散会。

○7月7日(金) 午前10時28分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第35号及び報告第37号ないし第41号を議題とし、一般質問を継続。**

**瀬能 晃議員（新道政）** から、

#### 1 農業問題について

- ・新食糧法に対する見解
- ・北海道米の生産流通方策の検討スケジュール
- ・自然景観等における水田の役割
- ・北海道米の販売戦略に対する見解
- ・地域特産物づくりに対する支援

#### 2 南空知地域の活性化対策について

- ・南空知地域の現状に対する認識
- ・今後の支援策
- ・移住インフォメーションの設置に係る取組み

#### 3 福祉問題について

- ・国民健康保険料の収納率向上対策
- ・国民健康保険未加入者の発生防止策
- ・財政健全化対策費補助金に係る市町村からの増額要望に対する見解
- ・保育所の入所状況
- ・保育所の新しい機能に対する見解
- ・保育所の施設整備費への積極支援に対する見解
- ・特別養護老人ホーム新設に係る見直し

等について質問があり、知事から答弁。

**大橋 晃議員（共産）** から、

#### 1 知事の政治姿勢について

- ・道知事選挙における道職員の選挙違反に対する見解
- ・市町村の政策要望の活用に係る見解
- ・保健所の再編に対する見解
- ・交際費・食糧費の情報公開に対する見解
- ・憲法に対する認識
- ・侵略戦争の認識
- ・全道戦没者遺族大会への出席に対する見解
- ・非核・平和宣言に対する見解
- ・砲撃訓練の道内移転に伴う基地の拡大強化に対する見解
- ・米軍の道内移転に対する見解

#### 2 産業と開発について

- ・丘珠空港のジェット化・拡張について積極姿勢に転じた理由及び住民と関係団体の反対等の要望に対する見解
- ・エアカーゴ構想及び新長期計画に基づく基本

計画の未策定に対する見解

・上トママ開発に対する見解

### 3 道民生活について

・震災対策のための液状化詳細マップ及び公共  
建造物の耐震性調査に対する見解

・寒冷地手当の削減案に対する見解

・付き添い看護の廃止状況

・看護及び介護力低下の実態調査の必要性

・付添婦の再就職相談窓口の設置に対する見解

### 4 教育問題について

・いじめ問題の根本に対する見解

・文部省の生徒指導の手引きに対する見解

・学校5日制に伴う道立施設の無料化に対する  
見解

等について質問があり、知事、生活福祉部長、人事委員会委員長及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁があつて、議事進行の都合により、午後零時15分休憩。午後1時28分再開し、

**綿貫 健輔議員（改革）から、**

#### 1 地方分権について

・地方分権の推進に向けたこれまでの道政に対する評価

・地方分権の推進に向けた今後の展開

・支庁等出先機関への権限の委譲に対する見解

#### 2 道政改革について

・地域道民円卓会議の成果実現のための権限及び財源

・市町村振興補助金の支庁権限への委譲に対する見解

・支庁を重視した道職員育成に対する見解

#### 3 新しい総合計画について

・新しい計画策定に当たっての基本的考え方

・新しい総合計画策定の在り方

#### 4 商工行政について

・地域産業支援センターの計画内容

#### 5 水産行政について

・新たに栽培事業に取り組む漁業者が災害等を受けた場合の救済

・コンブ漁場の造成に関するこれまでの取組み

・コンブ漁場の保全及び管理への今後の支援に対する見解

等について質問があり、知事から答弁。同議員から発言があつて、質疑及び質問を終結。

議長から、予算及び企業会計決算に関する案件について、本議会に31人の委員をもって構成する

予算特別委員会及び19人の委員をもって構成する企業会計決算特別委員会を設置し、関係案件を両特別委員会にそれぞれ付託の上、審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

#### ○予算特別委員（31人）

荒島 仁（公明）	加藤 礼一（自民）
佐藤 寿雄（自民）	原田 裕（自民）
丸岩 公充（自民）	前田 康吉（新道政）
沢岡 信広（社会）	西田 昭紘（社会）
星野 高志（社会）	萩原 信宏（共産）
段坂 繁美（社会）	平出 陽子（社会）
上田 茂（新道政）	板谷 實（21'道民）
伊藤 条一（自民）	加藤 和久（自民）
釣部 勲（自民）	山口幸太郎（自民）
永井 利幸（自民）	野呂 善市（自民）
和田 敬友（自民）	小野寺 勇（自民）
酒井 芳秀（自民）	水野 重男（21'道民）
吉田 栄（社会）	鈴木 泰行（社会）
森 敏捷（社会）	大内 良一（社会）
輪島 幸雄（社会）	伊藤 武一（公明）
桜井 外治（自民）	

#### ○企業会計決算特別委員（19人）

岡田 俊之（社会）	伊東 良孝（自民）
野村 義次（自民）	政氏 雅（公明）
山田 駿太郎（新道政）	林 大記（社会）
山口 恵聖（社会）	高橋 定敏（自民）
山崎 正隆（自民）	高橋 一史（自民）
伊達 忠一（自民）	勝木 省三（自民）
吉田 栄（社会）	鯉谷 忠（社会）
佐々木隆博（社会）	大橋 晃（共産）
西村 慎一（21'道民）	久田 恭弘（自民）
平野 明彦（自民）	

残余の案件については、議案付託一覧のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

各委員会付託議案審査のため、7月10日から7月14日まで休会することに決定して、午後2時4分散会。

○7月17日（月）午後1時49分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第35号を議題とし、**予算特別、総務、生活福祉、農政、建設、文教各委員長からそれぞれ各委員会における付託議案の審査の経過と結果について報告。討論に入り、萩

原信宏議員（共産）から、議案第1号、第14号及び第17号に関する反対討論並びに議案第8号、第12号及び第35号に関する賛成討論があつて、討論終結。採決に入り、まず、議案第1号、第14号及び第17号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって、委員長報告のとおり可決（共産反対）。次に、議案第2号ないし第13号、第15号、第16号及び第18号ないし第35号を問題とし、簡易採決により、いずれも異議なく委員長報告のとおり可決。

**日程第2 議案第36号ないし第40号**を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略し、まず、議案第36号を問題とし、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり同意議決（共産反対）。次に、議案第37号ないし第40号を問題とし、簡易採決により、いずれも異議なく原案のとおり同意議決。

**日程第3 意見案第3号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略し、討論に入り、萩原信宏議員（共産）から、反対討論があつて、討論終結。採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決（共産反対）。

**日程第4 意見案第2号及び第4号ないし第9号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、討論に入り、大橋 晃議員（共産）から、意見案第2号に関する賛成討論があつて、討論終結の後、簡易採決により、いずれも異議なく原案のとおり可決。

閉会中継続審査の件について、企業会計決算特別委員長から申出のあった報告第37号ないし第41号について、閉会中継続審査に付することを決定。

閉会申請願・陳情継続審査及び事務調査の件について、各常任委員長及び議会運営委員長から申出のとおり、閉会中継続審査又は調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、報告第37号ないし第41号を除きすべて議了。

議長から閉会のあいさつがあつて、午後2時40分閉会。

## 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は7月7日設置され、平成7年度各会計補正予算案7件が付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、審査の方法等について協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに二分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、

第1分科会は、委員長に 平出 陽子さん

副委員長に 加藤 和久君

第2分科会は、委員長に 釣部 勲君

副委員長に 段坂 繁美君

を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、7月11日から各部所管の審査に入り、7月12日をもって各分科会の質疑を終了し、7月13日の委員会において、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

御承知のとおり、今回付託されました案件は、総額2,467億7,000万円余に及ぶ補正予算でありまして、これらの案件を中心に、道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会といたしましては、分科会において質疑保留となった事項につきまして、7月13日から総括質疑を行い、7月14日、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。

その総括質疑の主なものを申し上げますと、

1、新長期総合計画の中間点検結果について

1、施策とその効果について

1、地域振興機構について

1、支庁機能の強化について

1、財政問題について

1、道庁改革について

1、次期総合計画について

1、「ほくとう銀河プラン」について

などであります。

質疑終結後、理事会におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、議案第1号につきましては、意見の一致を見るに至らず、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、その他の案件、すなわち、議案第2号ないし第7号は、いずれも全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

- 1、新しい長期計画の策定に当たっては、新たな視点のもとに北海道の21世紀を見据え、それぞれの地域の特性を生かした真に北海道の発展に資する計画とするよう配慮すべきである。

- 1、今後の道政運営に当たっては、時代の変化に対応した行財政改革を早急に行うよう配慮すべきである。

との附帯意見を付されたいとの動議が提出され、採決の結果、賛成者多数をもってこれを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案審査の経過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

## 第2回定例会において知事から提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
6.23	1	平成7年度北海道一般会計補正予算(第1号)	予算特別	7.17	原案可決
同	2	平成7年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	3	平成7年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	4	平成7年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	5	平成7年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	6	平成7年度北海道流域下水道事業特別会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	7	平成7年度北海道病院事業会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	8	北海道行政手続条例案	総 務	同	同
同	9	北海道立女性相談援助センター条例案	生活福祉	同	同
同	10	北海道職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	11	北海道議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	12	北海道職員等の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	13	北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例案	同	同	同
同	14	北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	15	低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	16	北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業基金条例の一部を改正する条例案	農 政	同	同
同	17	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	18	北海道道の路線の認定及び廃止に関する件	同	同	同
同	19	特定多目的ダム法に基づくサンルダムの建設に関する基本計画の作成についての意見に関する件	同	同	同
同	20	工事請負契約の締結(北海道渡島合同庁舎改築工事〔第一工区〕)に関する件	総 務	同	同
同	21	工事請負契約の締結(北海道渡島合同庁舎改築工事〔第二工区〕)に関する件	同	同	同
同	22	工事請負契約の締結(十勝川流域下水道浄化センター機械濃縮機械工事)に関する件	建 設	同	同
同	23	工事請負契約の締結(北海道帯広工業高等学校改築工事〔第一工区〕)に関する件	文 教	同	同
同	24	工事請負契約の締結(北海道函館水産高等学校改築工事〔第一工区〕)に関する件	同	同	同
同	25	工事請負契約の締結(北海道釧路江南高等学校改築工事〔第二工区〕)に関する件	同	同	同
同	26	工事請負契約の締結(北海道帯広工業高等学校改築工事〔第二工区〕)に関する件	同	同	同
同	27	工事請負契約の締結(北海道オホーツク地区高等養護学校新築工事)に関する件	同	同	同
同	28	工事請負契約の締結(北海道函館水産高等学校改築工事〔第二工区〕)に関する件	同	同	同
同	29	工事請負契約の締結(北海道帯広工業高等学校改築工事〔第三工区〕)に関する件	同	同	同
同	30	工事請負契約の締結(北海道釧路江南高等学校改築工事〔第一工区〕)に関する件	同	同	同
同	31	工事請負契約の締結(北海道釧路江南高等学校改築工事〔第三工区〕)に関する件	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
6.23	32	工事請負契約の締結（北海道函館水産高等学校改築工事〔第三工区〕）に関する件	文教	7.17	原案可決
同	33	工事請負契約の締結（北海道道南地区高等養護学校新築工事）に関する件	同	同	同
同	34	財産の取得（物品・ガンマカメラ一式）に関する件	総務	同	同
同	35	財産の取得（土地・江別市上江別421番ほか二筆）に関する件	農政	同	同
7.17	36	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	37	北海道監査委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	38	北海道人事委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	39	北海道収用委員会委員及び北海道収用委員会予備委員の選任につき同意を求める件		同	同
同	40	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件		同	同

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
6.23	1	平成6年度北海道継続費繰越計算書報告の件			報告のみ
同	2	平成6年度北海道繰越明許費繰越計算書報告の件			同
同	3	平成6年度北海道工業用水道事業会計予算繰越計算書報告の件			同
同	4	北海道住宅供給公社の経営状況に関する件			同
同	5	北海道土地開発公社の経営状況に関する件			同
同	6	財団法人北海道農業開発公社の経営状況に関する件			同
同	7	社団法人北海道中小企業振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	8	財団法人北海道体育文化協会の経営状況に関する件			同
同	9	財団法人北海道公害防止基金協会の経営状況に関する件			同
同	10	財団法人北海道水産加工振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	11	社団法人北海道産炭地域振興センターの経営状況に関する件			同
同	12	財団法人北海道私立高等学校奨学会の経営状況に関する件			同
同	13	社団法人北海道軽種馬振興公社の経営状況に関する件			同
同	14	財団法人北海道ボランティア振興協会の経営状況に関する件			同
同	15	財団法人北方圏交流基金の経営状況に関する件			同
同	16	財団法人北海道中小企業振興公社の経営状況に関する件			同
同	17	財団法人北海道埋蔵文化財センターの経営状況に関する件			同
同	18	財団法人北海道開拓の村の経営状況に関する件			同
同	19	財団法人北海道高齢者問題研究協会の経営状況に関する件			同
同	20	財団法人北海道森林整備公社の経営状況に関する件			同
同	21	財団法人食の祭典委員会の経営状況に関する件			同
同	22	財団法人北海道住宅管理公社の経営状況に関する件			同
同	23	財団法人北海道長寿社会振興財団の経営状況に関する件			同
同	24	財団法人道民活動振興センターの経営状況に関する件			同
同	25	財団法人北海道生活文化振興基金の経営状況に関する件			同
同	26	財団法人北海道暴力追放センターの経営状況に関する件			同
同	27	社団法人北海道栽培漁業振興公社の経営状況に関する件			同
同	28	財団法人北海道建設技術センターの経営状況に関する件			同
同	29	社団法人北海道馬鈴しょ生産安定基金協会の経営状況に関する件			同
同	30	財団法人北海道科学・産業技術振興財団の経営状況に関する件			同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
同	31	財団法人北海道公営企業振興協会の経営状況に関する件			報告のみ
同	32	財団法人新千歳空港周辺環境整備財団の経営状況に関する件			同
同	33	財団法人北海道文化財団の経営状況に関する件			同
同	34	土地信託の事務処理状況に関する件			同
同	35	専決処分報告の件(訴えの提起に関する件、平成7年5月30日5件専決処分)			同
同	36	専決処分報告の件(損害賠償の額の決定、平成7年5月18日2件、平成7年6月2日7件、平成7年6月9日1件、平成7年6月12日1件専決処分)			同
7.5	37	平成6年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	7.17	継続審査
同	38	平成6年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	39	平成6年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	同
同	40	平成6年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	同
同	41	平成6年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同

## 第2回定例会において議員から提出のあった案件

### 意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
6.23	1	稲作経営の安定に関する意見書	佐藤時雄議員ほか13人	6.23	原案可決
7.17	2	寒冷地手当の現行支給水準維持を求める意見書	永井利幸議員ほか13人	7.17	同
同	3	産業の空洞化防止対策に関する意見書	大平盛雄議員ほか13人	同	同
同	4	「水力発電施設周辺地域交付金」の交付期間の延長に関する意見書	同	同	同
同	5	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	野呂善市議員ほか13人	同	同
同	6	石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見書	鈴木泰行議員ほか12人	同	同
同	7	北方領土問題等の解決促進に関する意見書	神戸典臣議員ほか12人	同	同
同	8	ボランティア活動の振興に関する意見書	山口幸太郎議員ほか7人	同	同
同	9	第六次海岸事業五箇年計画の策定と総投資規模の確保に関する意見書	同	同	同

# 意見書

## 意見案第1号 稲作経営の安定に関する意見書

平成7年2定  
佐藤時雄議員ほか13人提出  
平成7年6月23日原案可決

新食糧法の施行やミニマム・アクセスの実施など我が国の稲作が大きな変革期を迎えようとしている中で、我が国最大の主産地である本道の稲作振興と稲作農家の経営安定を図るため、次の事項について適切な措置を講ずるよう要望する。

記

### [新しい農業・農村の基本法の制定について]

新たな国境措置の下で、国内農業・農村の持続的な発展を確かなものとするため、高品質な農産物を国民に安定的に供給できる食料自給力確保に加え、国土・環境の保全や地域経済の安定など多面的な機能の維持等を農業・農村政策の新たな理念として盛り込んだ新しい農業基本法を制定すること。

### [平成7年産米の政府買入価格について]

7年産米の政府買入価格については、稲作農家が今後とも意欲をもって米生産に取り組めるよう、所得の確保と経営の安定に十分配慮し、現行価格を堅持すること。

### [稲作経営の安定対策について]

稲作農家の土地改良負担金の軽減および負債の軽減対策を強化し、稲作経営の安定を図ること。

### [集荷・流通対策について]

7年産米の円滑な集荷・流通を図るため適切な助成措置を講ずるとともに、新制度への移行に向けた経過措置に十分配慮すること。

### [米の需要拡大対策について]

米の需要拡大を図るため、予算の増枠や学校給食用米穀に対する助成措置を引き続き講ずること。

### [稲作生産対策の推進について]

- 1 広域的な米穀集出荷施設や種子調製施設の整備、先端技術の導入の取組み等に対する助成措置を拡大すること。
- 2 良質、耐冷性品種の開発等に関する国による先導的研究を強化するとともに、都道府県への助成を充実すること。
- 3 水田への地力増進作物の作付けなど、土づくりに対する助成措置を強化すること。

### [新食糧制度の円滑な推進について]

- 1 生産調整の実効性を確保するため、適切な助成措置を講ずること。
- 2 米の需給と価格の安定を図るため、次の対策を実施すること。
  - (1) 民間備蓄及び調整保管に対する経費の助成
  - (2) 価格低落時の経営安定対策の創設
  - (3) 政府買入価格の適切な設定
  - (4) 計画流通米に対する助成措置の創設

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 中川 義雄

内閣総理大臣、大蔵大臣、農林水産大臣 各通

## 意見案第2号 寒冷地手当の現行支給水準維持を求める意見書

平成7年2定  
永井利幸議員ほか13人提出  
平成7年7月17日原案可決

寒冷地手当は、北海道など積雪寒冷地において住民生活に不可欠な冬期間における暖房や防寒被服など特別に要する経費を補うため支給されている実態にある。

こうした中で人事院においては、「非支給地との格差を見ながら適正化をはかる」として、本年の勧告で寒冷地手当の見直しを盛り込み、大幅な削減の方向で検討していると伝えられている。

国家公務員の寒冷地手当制度は、北海道の公務員勤労者27万人余の生活に関わるだけではなく、公務員に準じ同様の手当が支給されている多くの民間勤労者などにも波及することが予想され、寒冷地手当の削減が地域経済に影響を及ぼすことは明らかである。

また、寒冷地手当は地方交付税の積算基礎にもなっており、地方財政への影響も懸念されるところである。

よって、本年の人事院勧告において次の事項の実現を強く要望する。

### 記

一 寒冷地手当の見直しにあたっては、その水準を維持するとともに不利益を生じないように措置すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 中川義雄

人事院総裁、自治大臣、総務庁長官 各通

## 意見案第3号 産業の空洞化防止対策に関する意見書

平成7年2定  
大平盛雄議員ほか13人提出  
平成7年7月17日原案可決

今日、我が国経済は、緩やかな回復基調に足踏みがみられ、昨今の円高等を背景として、我が国企業の海外移転の増大など、産業空洞化が一段と進んでいるところである。

特に、現下の急激な円高は、我が国の輸出企業に大きな打撃を与えており、我が国経済全体への深刻な影響が懸念されている。

このため、為替相場の安定に向けた各国との協調介入をはじめ、抜本的な円高対策を講ずるとともに、我が国産業の振興を図るため、産業の高度化を促し、より付加価値の高い産業やニュービジネス、ベンチャー企業をはじめとした研究開発型企業等の育成など、新たな産業の創出に向けた取組みが求められている。

よって、国においては、産業の空洞化を防ぐため、万全の対策を緊急に講ずるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 中川義雄

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業大臣 } 各通  
総務庁長官、経済企画庁長官

意見案第4号 「水力発電施設周辺地域交付金」の交付期間の延長に関する意見書

平成7年2定  
大平盛雄議員ほか13人提出  
平成7年7月17日原案可決

「水力発電施設周辺地域交付金」の制度は、水力発電施設の設置・運営により生じた周辺地域の自然環境及び生活環境への影響緩和措置として、昭和56年度に施行され、以来、市町村の地域振興に大きく寄与してきたところである。

しかしながら、本制度は、平成7年度をもって終わることとなっているが、本制度の所期の目的を達成させるためには、なお、長期にわたり存続させる必要があり、また、本制度に寄せる関係市町村の期待は依然大きいものがある。

よって、国においては、本交付金の交付期間を延長し、平成8年度以降も引き続き交付されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 中川義雄

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通  
通商産業大臣、自治大臣 }

意見案第5号 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

平成7年2定  
野呂善市議員ほか13人提出  
平成7年7月17日原案可決

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等とその水準の維持向上を図る制度として完全に定着しており、現行教育制度の重要な根幹をなしている。

しかしながら、政府は昭和60年度以降義務教育費国庫負担制度の見直しを行い、旅費、教材費、恩給費を国庫負担の対象から除外したほか、平成5年度には共済費追加費用等について負担率の段階的引き下げを早めて、完全に一般財源化することとした。

さらに、平成8年度予算編成においても、学校事務職員及び栄養職員の給与費を国庫負担の対象から除外されることが懸念されるが、これが実施された場合は、単に厳しい地方財政に対し、負担を増大させるにとどまらず、義務教育の円滑な推進に重大な影響を及ぼすことが憂慮される。

よって、政府におかれては、学校事務職員・栄養職員等を国庫負担の対象からはずすことなく、現行義務教育費国庫負担制度を堅持されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 中川義雄

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通  
文部大臣、自治大臣 }

## 意見案第6号 石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見書

平成7年2定  
鈴木泰行議員ほか12人提出  
平成7年7月17日原案可決

本道の石炭鉱業は、平成4年度にスタートした「新しい石炭政策」の下、4年9月の三井芦別炭鉱、6年2月の住友赤平炭鉱に続いて、この3月には空知炭鉱が閉山するなど、第八次石炭政策にも勝る早いテンポで構造調整が進められた結果、残る主要炭鉱は太平洋炭鉱1炭鉱という厳しい状況になった。

しかしながら、石炭鉱業は地域の基幹産業として今なお大きな役割を果たしており、地域ではその存続と安定を強く願っている。

また、「新しい石炭政策」の下で閉山が行われた地域はもとより、その他の産炭地域においても、過去の合理化・閉山の影響が未だ色濃く残り、人口の流出、地方財政の悪化等多くの難問を抱えた厳しい状況が続いている。

そのため、「産炭地域振興実施計画」の実効性を高め、地域の経済的、社会的疲弊を払拭し、総合的な振興を図ることが強く求められている。

ついては、このような本道の石炭鉱業並びに産炭地域の厳しい実情をご理解いただき、平成8年度予算編成並びに今後の施策の実施に当たり、次の事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

### 記

#### 1 石炭対策財源の確保

「石炭並びに石油及びエネルギー需給構造高度化対策特別会計」の特定財源による石炭関係予算の安定的な確保を図るとともに、石炭鉱業安定対策並びに産炭地域振興対策への重点配分を図ること。

#### 2 現存炭鉱存続のための各種施策の充実強化

現存炭鉱の存続と石炭鉱業の安定を図るため、需要の確保、適切な炭価の設定、各種助成措置の充実強化、露頭炭業者等に対する配慮などの措置を講ずること。

#### 3 石炭企業等の経営多角化等に対する支援の強化

石炭企業等が行う経営の多角化等により経営基盤の強化や地域振興対策への支援などが図られるよう各種助成措置を強化するとともに、制度の弾力的運用を図ること。

#### 4 国際的技術協力

国際的技術協力に資するため、現存炭鉱を活用した石炭技術の研究・研修施設等を本道に設置すること。

#### 5 産炭地域振興対策の強化

産炭地域の振興を図るため、産炭地域振興実施計画の実効性の確保、第三セクターに対する超低利融資制度の創設等による地域活性化プロジェクトの推進、街づくりのための炭鉱跡地の再開発に対する支援、企業誘致の促進、消防総合訓練センター等公的施設の誘致、地域振興整備公団の機能強化、水利権の譲渡、総合保養地域整備法の適用などの措置を講ずること。

#### 6 地方自治体への財政援助

産炭地域市町村の財政の安定を図るため、産炭地域振興臨時交付金制度の拡充強化、炭鉱閉山が行われた産炭地市町村に対する新たな地域活性化資金制度の創設、地方交付税制度の拡充強化などの措置を講ずること。

#### 7 雇用対策

雇用の安定等を図るため、経営の多角化、新分野開拓に伴う職業転換訓練、配置転換、出向等を行う事業主に対する助成制度の拡充強化、地元雇用の創出、下請離職者対策などの措

置を講ずること。

8 中小商工業者対策の充実強化

産炭地域振興臨時交付金構造調整地区中小商工業者対策調整額制度の貸付条件の緩和、既往貸付金の償還猶予等の措置を講ずること。

9 ずり山対策

ずり山の崩壊による鉱害の防止措置を講ずるため、助成措置等について弾力的な取扱いをすること。

10 石炭関係優遇措置の延長

平成7年度を期限とする「稼行炭鉱地域における工業用機械等の特別償却制度」など石炭関係優遇税制を延長すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 中川 義雄

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業大臣 } 各通  
労働大臣、建設大臣、自治大臣 }  
北海道開発庁長官、国土庁長官 }

意見案第7号 北方領土問題等の解決促進に関する意見書

〔平成7年2定  
神戸典臣議員ほか12人提出  
平成7年7月17日原案可決〕

我が国固有の領土である歯舞、色丹及び国後、択捉等の北方領土の返還の実現は、我々に課された国民的課題であり、全国民の永年の悲願である。

しかるに、戦後50年の節目の年に当たる今日もなお、北方領土は返還されず、日露両国間に平和条約が締結されていないことは、誠に遺憾なことである。

日露両国間における政治対話をはじめとする人的、物的交流の一層の拡充を図り、北方領土問題を解決して、平和条約を締結することは、両国間の基本関係の正常化のみならず国際社会の平和と安定に大きく貢献するものと確信する。

よって、政府においては、北方領土の返還を求める国民の総意と心情にこたえるため、北方領土問題が四島の帰属問題であると位置付けた「東京宣言」を基盤とし、北方領土の返還を実現して、平和条約を締結することにより、日露両国間の真に安定した友好関係を確立するとともに、次の事項につき適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 一 国民世論の統一と高揚を図るため、全国的な啓発運動を推進すること。
- 一 「北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律」に基づく振興対策の充実強化を図ること。
- 一 北方地域旧漁業権に対する補償措置を早急に講ずること。
- 一 北方領土元居住者等に対する融資等援護措置の充実強化を図ること。
- 一 北方領土墓参については、希望地域で実施できるようにすること。
- 一 北方四島との交流事業を推進すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 中川 義雄

内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣 } 各通  
総務庁長官、北海道開発庁長官 }

意見案第 8 号 ボランティア活動の振興に関する意見書

〔平成 7 年 2 定  
山口幸太郎議員ほか 7 人提出  
平成 7 年 7 月 17 日原案可決〕

今日、高齢化や少子化社会の進展などを背景として、我が国におけるボランティア活動は、医療や福祉にとどまらず、教育や災害救援など広範な分野において、様々な活動が展開されてきているところである。

とりわけ、先の阪神・淡路大震災においては、数多くのボランティアの方々が人命救助をはじめ、様々な活動に積極的に取り組まれたことは、周知のとおりである。

しかし、我が国においてはこれらのボランティア活動を支える社会的条件が、欧米に比べ大きく立ち遅れており、せっかくの善意が十分に生かされていないらいが見受けられるところである。

よって、政府においては、ボランティア活動の諸条件を早急に整備するなど、積極的な支援措置を実現するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 中川 義雄

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣、厚生大臣 } 各通  
労働大臣、自治大臣、経済企画庁長官

意見案第 9 号 第六次海岸事業五箇年計画の策定と総投資規模の確保に関する意見書

〔平成 7 年 2 定  
山口幸太郎議員ほか 7 人提出  
平成 7 年 7 月 17 日原案可決〕

波浪、高潮、浸食、津波等による海岸災害から国民の生命と財産を守り、安全で快適な生活環境の確保を図るためには、国民生活に密接に関連する海岸事業を、緊急かつ計画的に実施することが極めて重要である。

特に、北海道は、国土保全事業の歴史が浅く海岸延長が長いことから、全国に比べ海岸事業の進捗が遅れており、波浪、高潮、浸食、津波等による被害が繰り返されているため、事業を強力に推進することが急務である。

よって、政府においては、平成 8 年度を初年度とする「第六次海岸事業五箇年計画」を早期に策定するとともに、投資規模を大幅に拡大し、真に豊かさを実感できる、安全で活力ある国土基盤の形成に向けて、自然豊かな海岸保全方式などによる良質な海岸保全施設の整備、良好な海岸環境の形成など、海岸事業を強力に推進されるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 中川 義雄

内閣総理大臣、大蔵大臣、農林水産大臣 } 各通  
運輸大臣、建設大臣、自治大臣  
北海道開発庁長官、国土庁長官

## 請 願・陳 情

① 第2回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの

### 請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付託委員会	審査の結果
1	学級削減反対、35人以下学級の実現を求める件	ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会 代表 渡辺昌子	文 教	継続審査
2	義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持に関する件	北海道教職員組合 中央執行委員長 若月雅裕	同	同
3	寒冷地手当の支給基準を引き下げる「見直し」を行わずその改善を求める意見書の提出に関する件	北海道公務・公共業務労働組合共闘会議 代表 議長 八木靖彦	総 務	同
4	丘珠空港の一方的な滑走路延長・ジェット化に反対し、自衛隊ヘリコプター基地の撤去を求める件	丘珠空港騒音をなくす会 会長 宮田寿郎	建 設	同
5	同	同	総 務	同
6	寒冷地手当の削減につながる見直しを行わず現行支給水準維持を求める意見書の提出に関する件	連合北海道官公部門連絡会 代表 議長 上松俊彦	同	同

### 陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付託委員会	審査の結果
1	生活保護の受給者を差別し、医療を受ける権利を侵害する医療券方式を健康保険証のような医療証に改善する意見書の提出に関する件	北海道生活と健康を守る会連合会 会長 三浦誠一	生活福祉	継続審査

# 委員会の動き

## 議会運営委員会

○6月16日(金) 開議 午後1時45分  
散会 午後1時53分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史(自民)

開議に先立ち、6月1日付けの人事異動に伴う幹部職員の紹介。

- 1 委員席について
  - ・只今着席のとおりとすることを決定。
- 2 会派役員届について
  - ・各派から届け出のあった役員について、配付資料の名簿のとおり整理した旨報告。
- 3 今期(25期)における議会運営について
  - ・前期(24期)における議会運営に関する決定事項を踏襲の上取り進める。
- 4 前期から申し送りを受けた件について
  - ・代表質問の発言時間に関する件及び決算特別委員会の審査方法に関する件について、理事会協議の結果、配付資料の改正案のとおりまとまった旨報告し、理事会協議のとおりとすることを決定。
- 5 第2回定例会について
  - ・招集期日を6月23日とする。
  - ・会期は25日間とする。
  - ・総務部長から提出予定の主要案件について説明。
  - ・日程について、次のとおり取り進める。
    - ▽第2回定例会
    - 6月23日 本会議
    - 24日～28日 休会
    - 29日・30日 本会議(代表質問)
    - 7月1日・2日 休会
    - 3日～5日 本会議(一般質問)
    - 6日 本会議(一般質問、予算・企業会計決算特別委員会設置)
    - 7日～16日 休会
    - 17日 本会議
- 6 代表質問について
  - ・順位は年次毎の多数会派、少数会派別循環方式による。

- ・今定例会は自民、社会、21'道民、公明、新道政となる旨了承。
  - ・発言時間は、大会派は定例会毎60分、年間120分、小会派は定例会毎25分、年間50分を基本とし、年間時間に10分を加えた範囲内で会派において定例会毎に調整する。
- 7 一般質問について
    - ・順位は十分比方式による。
    - ・10番目については公明と新道政が同率のため、両会派間で調整し、結果を後日報告する。
    - ・諸派の順位は輪番制とする。
    - ・発言時間は、各会派は議員数に5分を乗じて得た時間を配分し、予定の日数で終了するように議会運営委員会で調整する。諸派については一人年間30分とされており、二定以降の残時間は共産40分、改革53分、無所属23分となる旨了承。

○6月22日(木) 開議 午後1時48分  
散会 午後1時50分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史(自民)

- 1 第2回定例会提出議案について
  - ・総務部長から説明。
  - ・知事の提案説明の件を了承。
- 2 代表質問について
  - ・通告は6月27日(火)正午までとする。
- 3 一般質問について
  - ・通告は6月30日(金)正午までとする。
- 4 予算特別委員会及び企業会計決算特別委員会について
  - ・委員会構成及び正副委員長の配分は、配付の協議事項記載のとおりとする。なお、両特別委員会の構成について、共産及び改革が同率のため、委員1人の配分について両派間で調整し、結果を後日報告する。
  - ・委員名簿は7月4日(火)正午までに提出する。
- 5 意見書の発議について
  - ・農政委員会において「稲作経営の安定に関する意見書」の発議が予定されており、提出された場合、明日の本会議において議決する。
- 6 休会について
  - ・議案調査のため6月26日から6月28日まで休会し、6月29日再開する。
- 7 議場コンサートについて

- ・7月5日の昼休み休憩中に実施する。
  - ・配付資料の実施要領（案）のとおり開催する。
- 8 明日の本会議について
- ・テレビ中継及び録画をするため、演壇上にマイクを設置する旨了承。
- 9 6月23日の本会議議事順序について
- ・明日の委員会において協議する。

○6月23日（金） 開議 午前9時37分  
散会 午前9時39分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史（自民）

- 1 意見書の取扱いについて
- ・意見書第1号「稲作経営の安定に関する意見書」の提出があった旨報告。
  - ・本日の本会議において、説明及び委員会付託省略の後議決する。
- 2 本日の議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。

○6月29日（木） 開議 午前9時45分  
散会 午前9時46分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史（自民）

- 1 代表質問について
- ・通告（5名）について報告。
  - ・本日2名、明日3名行う。
- 2 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。

○6月30日（金） 開議 午前9時41分  
散会 午後1時26分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史（自民）

- 1 昨日の釣部 勲議員（自民）の議事進行発言の取扱いとその後の状況について
- ・総務部長から、補足答弁の準備に若干の時間を要する旨発言。
  - ・本日の本会議は一旦開会し、議事進行の都合により休憩する。

風早俊男委員（21'道民）から、補足答弁準備の所要時間について質問があり、委員長より鋭意努力するよう発言。

（午前9時43分休憩、午後1時25分再開。）

- 2 昨日の釣部議員の議事進行発言の取扱いとそ

の後の状況について

- ・総務部長から、酒井芳秀議員（自民）の再質問に対し補足して答弁したい旨発言。
  - ・本会議は酒井議員の再質問に対する知事の補足答弁から入る旨決定。
- 3 代表質問について
- ・通告内容等の変更を了承。
  - ・本日3名、7月3日2名を行う。
- 4 本日の本会議について
- ・酒井議員の質問継続と他に2名の代表質問を行い延会する。

○7月3日（月） 開議 午後1時18分  
散会 午後1時21分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史（自民）

- 1 元議員の逝去について
- ・中野与作氏の逝去（空知支庁選出、第15期～第16期、6月27日逝去）について報告。
- 2 代表質問について
- ・本日は2名行う。
- 3 一般質問について
- ・通告（27名）について報告。
  - ・順位の10番目は公明となった旨了承。
  - ・個人別順位は、配付資料の通告一覧のとおり決定。
  - ・7月4日、5日、6日にそれぞれ9名ずつ行う。
- 4 議員の資産等公開条例等の制定について
- ・配付資料の設置要綱（案）のとおり協議機関を設置し取り進める。
- 5 本日の本会議議事順序について
- ・事務局長説明のとおりとする。

○7月4日（火） 開議 午前9時47分  
散会 午前9時50分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史（自民）

- 1 追加提出予定案件について
- ・総務部長の発言のとおり7月5日の追加提出について了承。
- 2 一般質問について
- ・通告内容等の変更を了承。
- 3 本日の本会議について
- ・9名の一般質問を行う。

4 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

○7月5日(水) 開議 午前9時52分  
散会 午前9時55分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史(自民)

1 追加提出案件について

- ・総務部長から説明。
- ・本日の本会議冒頭において、知事の提案説明を行う。

2 一般質問について

- ・通告内容等の変更を了承。

3 本日の本会議について

- ・9名の一般質問を行う。

4 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

委員長から、本日昼休み休憩中に実施する議場コンサートの周知依頼の発言。

○7月6日(木) 開議 午前10時21分  
散会 午前10時24分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史(自民)

1 一般質問について

- ・通告内容等の変更を了承。
- ・7月7日まで行うこととし、本日7名、明日3名行う。

2 今後の日程について

- ・以下のように変更

7月6日	本会議(一般質問)
7日	本会議(一般質問、予算・企業会計決算特別委員会設置)
8日~16日	休会
17日	本会議

3 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

○7月7日(金) 開議 午前9時48分  
散会 午前9時52分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史(自民)

1 一般質問について

- ・通告内容等の変更を了承。

2 本日の本会議について

- ・3名の一般質問を行う。

3 予算及び企業会計決算特別委員会について

- ・本日一般質問終了後、両特別委員会を設置する。

- ・諸派の委員配分については、両特別委員会とも共産とする。

- ・予算特別委員会各派別分科会委員数は、配付資料の協議事項記載のとおり決定した旨報告。

- ・配付資料の名簿のとおり、両特別委員会の委員を選任する。

4 議案の各委員会付託について

- ・事務局長説明のとおりとする。

5 休会について

- ・各委員会付託議案審査のため、7月10日から7月14日まで休会し、7月17日再開する。

6 本日の本会議議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

○7月17日(月) 開議 午後零時44分  
散会 午後零時50分  
議会運営委員会室  
委員長 高橋 一史(自民)

1 各委員会付託議案の審議状況について

- ・予算7件、総務10件、生活福祉1件、農政2件、建設4件、文教11件、以上35件については、すべて議了した旨報告。

2 閉会中継続審査について

- ・企業会計決算特別委員会で審査中の報告第37号ないし第41号を継続審査とすることに決定した旨報告。

3 追加提出議案について

- ・議案第36号ないし第40号の人事案件について、総務部長から説明。

- ・本日の本会議で議決する。

4 意見案の取扱いについて

- ・意見案第2号ないし第9号の提出があり、本日の本会議において議決する。

5 閉会中継続調査申出について

- ・会議規則第80条の規定により、閉会中継続調査を申し出る。

6 議会庁舎の改築整備等について

- ・議会運営委員会を検討機関とする。

- ・整備計画立案過程における説明聴取及びその内容検討等は理事会で行い、必要に応じ検討

結果を本委員会に報告し決定する。

- 7 本日の本会議議事順序について  
・事務局長説明のとおりとする。

## 常任委員会

### 総務委員会

- 6月6日(火) 開議 午後1時36分  
散会 午後2時2分  
第5委員会室  
委員長 永井 利幸(自民)

#### 一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 北海道納税推進運動本部委員に、石井孝一委員(自民)、鈴木泰行委員(社会)、西村慎一委員(21'道民)、伊藤武一委員(公明)及び上田茂委員(新道政)を推薦。
- ③ 総務部長、企画振興部長、警察本部総務部長、出納局長、選挙管理委員会事務局長、人事委員会事務局長及び監査委員事務局長から、所管事務の概要について説明。
- ④ 総務部長から阪神・淡路大震災に係る支援状況について説明。
- ⑤ 企画振興部長から、上川中部圏及び釧路地方拠点都市地域の指定に関する件について報告。

- 6月22日(木) 開議 午前10時50分  
散会 午前11時17分  
第5委員会室  
委員長 永井 利幸(自民)

#### 一般議事

- ① 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 行財政状況等に関する道内調査の実施を決定。
- ③ 警察本部総務部長から、全日空機ハイジャック事件の概要について報告。

- 7月14日(金) 開議 午後1時15分  
散会 午後1時42分  
第5委員会室  
委員長 永井 利幸(自民)

#### 付託案件の審査

議案第8号

北海道行政手続条例案 (原案可決)

議案第10号

北海道職員の給与に関する条例の一部を改正

する条例案 (原案可決)

議案第11号

北海道議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第12号

北海道職員等の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第13号

北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第14号

北海道税条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第15号

低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第20号

工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

議案第21号

工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

議案第34号

財産の取得に関する件 (原案可決)

一般議事

- ① 寒冷地手当の現行支給水準維持を求める意見案の発議を決定。
- ② 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、平成8年度北海道開発関係予算要望の概要について説明。
- ③ 平成8年度北海道開発関係予算要望に関する中央折衝の実施を決定。
- ④ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

生活福祉委員会

○6月6日(火) 開議 午後1時25分  
散会 午後1時50分  
第9委員会室  
委員長 風早 俊男(21'道民)

一般議事

- ① 議席を決定。

- ② 北海道地方社会福祉審議会委員に川尻秀之副委員長(自民)、段坂繁美委員(社会)を推薦。  
北海道児童福祉審議会委員に風早俊男委員長(21'道民)、佐藤英道委員(公明)を推薦。  
北海道国民健康保険審査会委員に米沢一喜委員(自民)を推薦。

北海道青少年問題協議会委員に石川十四夫委員(新道政)、大橋 晃委員(共産)を推薦。

- ③ 生活福祉部長から、所管事務の概要について説明。

○6月22日(木) 開議 午前10時35分  
散会 午前11時30分  
第9委員会室  
委員長 風早 俊男(21'道民)

一般議事

- ① 生活福祉部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 生活福祉部長から、道民生活安定条例施行状況について報告。
- ③ 大橋 晃委員(共産)から質疑  
(1) テレビ・ラジオの難視聴対策について  
(2) 生活保護の受診証方式化について

○7月14日(金) 開議 午後2時  
散会 午後2時54分  
第9委員会室  
委員長 風早 俊男(21'道民)

付託案件の審査

議案第9号

北海道立女性相談援助センター条例案 (原案可決)

一般議事

- ① 生活福祉部長から、平成8年度北海道開発予算要望事項について説明。
- ② 生活福祉部長から、平成7年度サハリン地域(樺太)墓参について報告。
- ③ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ⑤ 大橋 晃委員(共産)から質疑  
高齢者保健福祉計画及びホームヘルパーについて

## 保健環境委員会

- 6月6日(火) 開議 午後1時32分  
散会 午後2時25分  
第3委員会室  
委員長 大内 良一(社会)

### 一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 保健環境部長から、所管事務の概要について説明。
- ③ 保健環境部長から、精神保健法の改正について報告。
- ④ 保健環境部長から、天塩川水系サンルダム建設事業等に係る環境影響評価について報告。
- ⑤ 萩原信宏委員(共産)から質疑
  - (1) ハイテク汚染について
  - (2) 環境室について

- 6月22日(木) 開議 午前11時10分  
散会 午前11時59分  
第3委員会室  
委員長 大内 良一(社会)

### 一般議事

- ① 保健環境部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 北海道医療審議会委員に、加藤和久副委員長(自民)を推薦。  
北海道献血推進協議会委員に、林 大記委員(社会)、萩原信宏委員(共産)を推薦。  
北海道環境審議会委員に大内良一委員長(社会)、山口幸太郎委員(自民)を推薦。  
北海道自然環境保全審議会委員に、伊東良孝委員(自民)、伊藤政信委員(社会)を推薦。
- ③ 保健環境部長から、夕張シューパロダム建設事業に係る環境影響評価について報告。
- ④ 萩原信宏委員(共産)から質疑  
トマムアセスについて

- 7月14日(金) 開議 午後2時10分  
散会 午後2時50分  
第3委員会室  
委員長 大内 良一(社会)

### 一般議事

- ① 保健環境部長から、公害の状況等に関する年

次報告について説明。

- ② 保健環境部長から、平成8年度北海道開発予算要望事項について説明。
- ③ 平成8年度北海道開発予算要望事項に関する中央折衝の実施を決定。
- ④ 保健環境部長から、滝里発電所設置計画等に係る環境影響評価について報告。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ⑥ 萩原信宏委員(共産)から質疑  
骨粗鬆症対策について

## 商工労働観光委員会

- 6月6日(火) 開議 午後1時31分  
散会 午後1時50分  
第8委員会室  
委員長 大平 盛雄(社会)

### 一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 先端技術産業等の立地に関する専門委員会特別委員に、大平盛雄委員長(社会)及び伊藤条一副委員長(自民)を推薦。
- ③ 商工労働観光部長、企業局長及び地方労働委員会事務局長から、所管事務の概要について説明。

- 6月22日(木) 開議 午前10時45分  
散会 午前11時7分  
第8委員会室  
委員長 大平 盛雄(社会)

### 一般議事

- ① 商工労働観光部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 商工労働観光部長から、平成6年度本道観光客入込み調査の概要について報告。  
水野重男委員(21'道民)から質疑

- 7月14日(金) 開議 午後2時9分  
散会 午後2時20分  
第8委員会室  
委員長 大平 盛雄(社会)

### 一般議事

- ① 「水力発電施設周辺地域交付金」の交付期間の延長に関する意見案及び産業の空洞化防止対策

に関する意見案の発議を決定。

- ② 商工労働観光部長及び企業局長から、平成8年度北海道開発予算要望事項について説明。
- ③ 平成8年度北海道開発予算要望事項に関する中央折衝の実施を決定。
- ④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 農政委員会

- 6月6日(火) 開議 午後1時31分  
散会 午後2時46分  
第1委員会室  
委員長 佐藤 時雄(自民)

### 一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 農政部長から、所管事務の概要について説明。
- ③ 平成7年産麦の政府買入価格に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ④ 農政部長から、平成7年産麦の政府買入価格について説明。
- ⑤ 農政部長から、道立農業大学校整備構想について説明。  
若狭 靖委員(自民)及び本間 勲委員(自民)から質疑、意見及び要望
- ⑥ 土田 弘委員(社会)から質疑、意見及び要望

地力の向上対策について

若狭 靖委員(自民)から質疑及び要望

- (1) 加工原料乳生産者補給金等暫定措置法に対する認識について
- (2) 農林水産省北海道農業対策室に対する評価について

- 6月22日(木) 開議 午前10時50分  
散会 午前11時27分  
第1委員会室  
委員長 佐藤 時雄(自民)

### 一般議事

- ① 稲作経営の安定に関する意見案の発議を決定。
- ② 意見案に関する中央折衝の実施を決定。
- ③ 農政部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ④ 農政部長から、農作物の成育状況について説明。

- ⑤ 吉野之雄委員(社会)及び岡田俊之委員(社会)から、委員会運営に関する意見及び要望。

- 7月14日(金) 開議 午後2時8分  
散会 午後3時11分  
第1委員会室  
委員長 佐藤 時雄(自民)

### 付託案件の審査

議案第16号

北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業  
基金条例の一部を改正する条例案(原案可決)

議案第35号

財産の取得に関する件 (原案可決)

### 一般議事

- ① 平成7年産米穀の政府買入価格に関する中央折衝の実施結果を了承。
- ② 農政部長から、平成7年産米穀の政府買入価格決定について説明。
- ③ 農政部長から、平成8年度農業関係国費予算要望について説明。  
吉野之雄委員(社会)及び岡田俊之委員(社会)から、意見及び要望
- ④ 平成8年度国費予算に係る中央折衝の実施を決定。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 建設委員会

- 6月6日(火) 開議 午後1時35分  
散会 午後1時50分  
第4委員会室  
委員長 伊達 忠一(自民)

### 一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、所管事務の概要について説明。
- ③ 北海道開発審査会委員及び北海道建築審査会委員に、伊達忠一委員長(自民)を推薦。  
北海道住宅対策審議会委員に、伊達忠一委員長(自民)、高橋定敏委員(自民)、高橋由紀雄委員(社会)、板谷 實委員(21'道民)を推薦。  
北海道住宅供給公社運営委員会委員に、吉田恵悦副委員長(公明)、岩本 允委員(自民)を推薦。

北海道土地開発公社土地開発推進委員会委員に、伊達忠一委員長（自民）及び高橋由紀雄委員（社会）を推薦。

北海道道路利用者会議委員に、委員全員を推薦。

○6月22日（木） 開議 午前10時39分  
散会 午前10時58分  
第4委員会室  
委員長 伊達 忠一（自民）

#### 一般議事

① 土木部長及び住宅都市部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

○7月14日（金） 開議 午後零時10分  
散会 午後零時35分  
第4委員会室  
委員長 伊達 忠一（自民）

#### 付託案件の審査

議案第17号

空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件（原案可決）

議案第18号

北海道道の路線の認定及び廃止に関する件（原案可決）

議案第19号

特定多目的ダム法に基づくサンルダムの建設に関する基本計画の作成についての意見に関する件（原案可決）

議案第22号

工事請負契約の締結に関する件（原案可決）

#### 一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、平成8年度北海道開発関係予算の概要について説明。
- ② 平成8年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ③ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

#### 水産林務委員会

○6月6日（火） 開議 午後1時25分  
散会 午後2時7分

第2委員会室  
委員長 大島 一郎（社会）

#### 一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 水産部長及び林務部長から、水産部並びに林務部所管事務の概要について説明。
- ③ 中川隆之委員（自民）から要望  
水産行政執行について

○6月22日（木） 開議 午前10時32分  
散会 午前10時53分  
第2委員会室  
委員長 大島 一郎（社会）

#### 一般議事

① 水産部長及び林務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

○7月14日（金） 開議 午後2時4分  
散会 午後2時15分  
第2委員会室  
委員長 大島 一郎（社会）

#### 一般議事

- ① 水産部長及び林務部長から、平成8年度水産林務関係国費予算に係る主要要望事項について説明。
- ② 国費予算に係る中央折衝の実施を決定。
- ③ 所管事務について閉会中継続調査の申出をすることを決定。

#### 文教委員会

○6月6日（火） 開議 午後1時20分  
散会 午後2時10分  
第10委員会室  
委員長 野呂 善市（自民）

#### 一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 教育長、企画管理部長及び学事課長から、所管事務の概要について説明。
- ③ 小原葉子委員（社会）から質疑  
敗戦50年と教育行政との関わりについて

○6月22日（木） 開議 午前10時34分  
散会 午前11時8分  
第10委員会室

委員長 野呂 善市（自民）

### 一 般 議 事

- ① 教育長、企画管理部長及び学事課長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 中崎昭一委員（自民）から提言  
議会の議決に付すべき契約について

- 7月14日（金） 開議 午後2時00分  
散会 午後2時22分  
第10委員会室  
委員長 野呂 善市（自民）

### 付 託 案 件 の 審 査

議案第23号ないし議案第33号

工事請負契約の締結に関する件（原案可決）

### 一 般 議 事

- ① 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見案の発議を決定。
- ② 教育長、企画管理部長及び学事課長から、平成8年度北海道開発関係予算概算要求の概要について説明。
- ③ 平成8年度北海道開発関係予算概算要求に関する中央折衝の実施を決定。
- ④ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 特 別 委 員 会

### 総合開発調査特別委員会

- 6月7日（水） 開議 午前10時35分  
散会 午前10時58分  
第1委員会室  
委員長 小野寺 勇（自民）

- ① 議席を決定。
- ② 企画振興部長から、所管事務の概要について説明。
- ③ 企画振興部長から、上川中部圏及び釧路地方拠点都市地域の指定に関する件について報告。
- ④ 大橋 晃委員（共産）から質疑  
過疎及び定住対策について

- 7月14日（金） 開議 午後3時43分  
散会 午後3時56分  
第1委員会室  
委員長 小野寺 勇（自民）

- ① 企画振興部長から、平成8年度北海道開発関係予算要望の概要について説明。
- ② 平成8年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。

### 産炭地域振興対策特別委員会

- 6月7日（水） 開議 午前10時42分  
散会 午前10時55分  
第5委員会室  
委員長 鈴木 泰行（社会）

- ① 議席を決定
- ② 商工労働観光部長から、所管事務の概要について説明。
- ③ 商工労働観光部長から、石炭鉱業並びに産炭地域をめぐる情勢について説明。

- 6月22日（木） 開議 午後2時14分  
散会 午後2時45分  
第5委員会室  
委員長 鈴木 泰行（社会）
- ① 商工労働観光部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
  - ② 石川十四夫委員（新道政）から質疑

## 産炭地域振興問題について

## 第4委員会室

委員長 神戸 典臣（自民）

- 7月14日（金） 開議 午後3時34分  
散会 午後3時40分  
第5委員会室  
委員長 鈴木 泰行（社会）
- ① 石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見書の発議及び中央折衝の実施を決定。
  - ② 北海道石炭対策連絡会議主催による中央折衝並びに産炭地域六団体主催による代表者大会及び中央折衝の実施を決定。
  - ③ 石川十四夫委員（新道政）から質疑産炭地サミットの開催について

## 北方領土対策特別委員会

- 6月7日（水） 開議 午前10時24分  
散会 午前10時44分  
第3委員会室  
委員長 事故のため  
副委員長 伊藤 武一（公明）
- ① 議席を決定。
  - ② 総務部長及び水産部長から、所管事務の概要について説明。
  - ③ 北方領土返還促進中央要請及び国会請願に関する実施概要の報告を了承。
  - ④ 領対本部長から、北方四島交流推進事業の事業計画を説明。
  - ⑤ 領対本部長から、「衆議院・沖縄及び北方問題に関する特別委員会」北方領土視察に関する説明。

- 6月22日（木） 開議 午後2時20分  
散会 午後2時46分  
第3委員会室  
委員長 神戸 典臣（自民）
- ① 領対本部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
  - ② 領対本部長から、北方四島交流推進事業の実施について報告。
  - ③ 若狭 靖委員（自民）から質疑北方領土返還推進員について

- 7月14日（金） 開議 午後2時42分  
散会 午後2時57分

- ① 北方領土問題等の解決促進に関する意見書の発議を決定。
- ② 領対本部長から、平成8年度北方領土対策関係国費予算に係る要望の概要について説明。
- ③ 開発予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ④ 領対本部長から、北方領土返還要求運動強調月間の実施について説明。
- ⑤ 道内調査の実施を決定。

## エネルギー問題調査特別委員会

- 6月7日（水） 開議 午前10時13分  
散会 午前10時22分  
第5委員会室  
委員長 勝木 省三（自民）
- ① 議席を決定
  - ② 商工労働観光部長から、所管事務の概要について説明。
  - ③ 商工労働観光部長から、北海道電力泊原子力発電所2号機第3回定期検査結果について報告。
  - ④ 商工労働観光部長から、サハリン天然ガス検討委員会の調査結果について報告。

- 6月22日（木） 開議 午後3時7分  
散会 午後3時25分  
第5委員会室  
委員長 勝木 省三（自民）
- ① 商工労働観光部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
  - ② 小原葉子委員（社会）から質疑北海道電力泊原子力発電所の使用済み核燃料の搬出について

## 交通安全対策特別委員会

- 6月7日（水） 開議 午前10時32分  
散会 午前10時54分  
第2委員会室  
委員長 佐々木隆博（社会）
- ① 議席を決定。
  - ② 生活福祉部長、警察本部交通部長から所管事務の概要について説明。

山口真人委員（自民）から質疑

件について説明。

- 6月22日（木） 開議 午後2時16分  
散会 午後2時29分  
第2委員会室  
委員長 佐々木隆博（社会）
- ① 生活福祉部長、警察本部交通部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
  - ② 生活福祉部長から、当面の交通事故防止対策について説明。

- 7月14日（金） 開議 午後3時30分  
散会 午後3時48分  
第2委員会室  
委員長 佐々木隆博（社会）
- ① 生活福祉部長、警察本部交通部長から、平成8年度北海道開発関係予算要望事項について説明。
  - ② 警察本部交通部長から、平成7年上半期の交通事故概要について報告。

### 地方分権・行政改革問題調査特別委員会

- 6月7日（水） 開議 午前11時34分  
散会 午前11時43分  
第1委員会室  
委員長 西村 慎一(21'道民)
- ① 議席を決定。
  - ② 今後の委員会運営についての理事会協議結果を報告。  
久田恭弘委員（自民）、中崎昭一委員（自民）及び大平盛雄委員（社会）から意見及び要望

- 6月22日（木） 開議 午後2時50分  
散会 午後3時30分  
第1委員会室  
委員長 西村 慎一(21'道民)
- ① 今後の委員会運営についての理事会協議結果を報告。
  - ② 企画振興部長から、地方分権推進法の概要について説明。  
中崎昭一委員（自民）、久田恭弘委員（自民）及び石井孝一委員（自民）から質疑、意見並びに要望
  - ③ 企画振興部長から、第2回定例会提出予定案

## 予算特別委員会

○7月7日(金) 開議 午後2時11分  
散会 午後2時22分  
第1委員会室  
委員長 鈴木 泰行(社会)

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に鈴木泰行委員(社会)、副委員長に和田敬友委員(自民)を選出。
- ② 付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、企画振興部、生活福祉部、保健環境部、人事委員会、公安委員会、出納局、監査委員及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工労働観光部、農政部、土木部、住宅都市部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員については、配付の委員名簿のとおり選出。

### ○第1分科会委員(15人)

佐藤 寿雄(自民) 丸岩 公充(自民)  
沢岡 信広(社会) 西田 昭紘(社会)  
平出 陽子(社会) 上田 茂(新道政)  
板谷 實(21'道民) 加藤 和久(自民)  
山口幸太郎(自民) 野呂 善市(自民)  
小野寺 勇(自民) 森 敏捷(社会)  
輪島 幸雄(社会) 伊藤 武一(公明)  
桜井 外治(自民)

### ○第2分科会委員(15人)

荒島 仁(公明) 加藤 礼一(自民)  
原田 裕(自民) 前田 康吉(新道政)  
星野 高志(社会) 萩原 信宏(共産)  
段坂 繁美(社会) 伊藤 条一(自民)  
釣部 勲(自民) 永井 利幸(自民)  
和田 敬友(自民) 酒井 芳秀(自民)  
水野 重男(21'道民) 吉田 栄(社会)  
大内 良一(社会)

- ④ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことに決定。

- ⑤ 付託案件の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。
- ⑥ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答形式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議の一般質問に準じることを決定。
- ⑦ 委員外議員の発言の取扱いについて、議員から発言の申出があった場合、その都度、委員会に諮り決定することとし、発言を許可した場合は、委員の質疑終了後に発言することを決定。
- ⑧ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑨ 本委員会の運営に当たり正副委員長及び各分科会の正副委員長をもって構成する理事会を設置しその協議により運営すること、正副委員長の配分のない会派及び諸派についても出席願うことを決定。

## 第1分科会

○7月7日(金) 開議 午後2時25分  
散会 午後2時34分  
第1委員会室  
第1分科委員長  
平出 陽子(社会)

### 正副委員長の互選

- ① 分科委員長に平出陽子委員(社会)、分科副委員長に加藤和久委員(自民)を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、21'道民、公明、新道政各1名計5名の理事を選びその協議により行う。理事に山口幸太郎委員(自民)、森 敏捷委員(社会)、板谷 實委員(21'道民)、伊藤武一委員(公明)、上田 茂委員(新道政)を選出。
- ④ 分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会に諮り決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

○7月11日(火) 開議 午前10時53分  
散会 午後5時54分  
第1委員会室

## 第1分科委員長

平出 陽子（社会）

### ① 企業局所管に対する質疑に入り、

佐藤 英道委員（公明）から、

石狩湾新港地域工業用水道事業について

- ・事業計画の概要とこれまでの進捗状況
- ・札幌市の河川緑地基本構想に基づく緑地整備事業との関連とこれに対する認識
- ・具体的な緑地整備事業の概要
- ・関係する地域住民に対する事業計画の説明
- ・地域住民に対し、計画段階の早期に説明しなかった理由
- ・本事業は、札幌市とよく話し合い、市の事業と一体的に進めるべきと思うが、これについての見解
- ・市事業との関連と、周囲の景観を配慮し、新たに計画を見直す意向の有無

等について、質疑、意見及び要望があり、企業局長から答弁があって、公安委員会及び企業局所管に対する質疑を終結。

### ② 保健環境部所管に対する質疑に入り、

清水 誠一委員（自民）から、

#### 1 理学療法士について

- ・目標水準の考え方
- ・就業状況と需給見通し
- ・道立保健所などへの配置
- ・北海道総合在宅ケア事業団の設立目的、事業内容
- ・北海道総合在宅ケア事業団への理学療法士の配置
- ・理学療法士の共同利用

#### 2 道立病院事業経営健全化計画と町移管病院について

- ・町移管の基本的な考え方
- ・松前病院の経営内容
- ・松前、静内町の収支計画
- ・松前病院への対応方策

等について

沢岡 信広委員（社会）から、

産業廃棄物について

- ・道外産業廃棄物の搬入計画
- ・道内処理業者の現状
- ・係争事案の現状と対処方針
- ・不法投棄、不適正処理の実態と監視指導体制
- ・札幌圏産業廃棄物処理管理計画（案）等に対する見解

・広域的な処理体制の考え方等について

森 成之委員（公明）から、

医師確保対策について

- ・医師数の状況
- ・地域間格差の状況
- ・北海道地域医療振興財団の事業内容
- ・北海道地域医療振興財団の医師招聘の実績
- ・北海道地域医療振興財団の実績に対する評価
- ・自治医科大学卒業生の勤務状況
- ・へき地等に勤務しにくい要因
- ・医師確保の方向
- ・ローテーション方式（ドクターセンター）のメリット
- ・ローテーション方式における医師確保の方法

等について、質疑、意見及び要望があり、保健環境部長、地域医療課長、成人保健課長、道立病院管理室参事、環境整備課長、地域医療課長から答弁があって、保健環境部所管に対する質疑を終結。

### ③ 生活福祉部所管に対する質疑に入り、

原田 裕委員（自民）から、

製造物責任法施行に係る取組みについて

- ・法施行に対する見解
- ・消費者保護に対する認識
- ・消費者や事業者に対する法の周知徹底についての取組み
- ・苦情相談体制と今後の対応
- ・欠陥の原因究明に対する体制整備
- ・特異事案に対する対応方策
- ・民間処理機関との連携
- ・事故情報の提供
- ・北海道消費者センターの整備

等について、質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長、消費生活課長から答弁があって、生活福祉部所管に対する質疑を終結。

### ④ 企画振興部所管に対する質疑に入り、

久田 恭弘委員（自民）から、

次期総合計画について

- ・新しい総合計画の基本的な考え方と策定スケジュール
- ・北海道開発庁との協議状況及び内容
- ・新しい計画の政策テーマの検討状況
- ・新しい計画の策定を進める基本的な考え方
- ・道民意向などの把握調査の具体的な内容
- ・地域の振興方向の具体的な検討内容

- ・新しい計画の組み立ての考え方
- ・地域に根づいた計画の考え方と取組内容
- ・次期計画における地域生活経済圏構想の位置付け
- ・計画の策定過程における道議会への報告の考え方
- ・新しい計画と苫東新計画など他の諸計画との整合性
- ・北海道開発庁の次期計画策定の作業状況
- ・次期四全総計画に係る道の対応
- ・国の新経済計画策定作業と新しい計画との関連
- ・「ほくとう銀河プラン」の取組状況と内容
- ・テクノスーパーライナー導入への取組状況
- ・新しい計画における「ほくとう銀河プラン」の位置付け
- ・基礎的な自治体としての市町村の在り方
- ・広域的な行政の取組状況と道の対応
- ・市町村合併の考え方
- ・新しい計画における戦略プロジェクトの位置付け

等について

**小野寺 勇委員（自民）** から、

次期総合計画について

- ・北海道総合開発委員会条例の内容
- ・新しい計画策定への取組姿勢

等について、質疑、意見及び要望があり、企画振興部長及び企画室参事から答弁。

○7月12日（水） 開議 午前10時46分

閉会 午後5時4分

第1委員会室

第1分科委員長

平出 陽子（社会）

① 企画振興部所管に対する質疑の続行、

**清水 誠一委員（自民）** から、

新長計の中間点検報告について

- ・計画の進捗状況に対する認識
- ・点検報告書における「主要な課題と今後の対応方向」の考え方
- ・一次産業の振興方策
- ・産業の高度化への方策
- ・航空宇宙産業基地の今後の取組み

等について

**酒井 芳秀委員（自民）** から、

1 本道経済の現状について

- ・道民所得の低迷状況に対する認識
- ・本道経済の現状認識
- ・施策の効果についての認識

2 地域生活経済圏と道政改革について

- ・地域振興機構の設置目的及び設置時期等
- ・地域生活経済圏の設定効果
- ・地域生活経済圏の道央圏の状況
- ・地域振興機構と地域生活経済圏との関連

等について、質疑、意見及び要望があり、企画振興部長及び参事監から答弁があって、企画振興部及び選挙管理委員会所管に対する質疑は、総括質疑に保留された事項を除き終結。

② **総務部所管に対する質疑**に入り、

**清水 誠一委員（自民）** から、

新長計について

- ・戦略プロジェクト国際協力推進システムにおける国際研修センターの位置付け
- ・国際研修センターの事業内容及び組織体制
- ・北方圏センターの受託業務内容及び受託理由
- ・国際研修センター開設に向けての準備体制
- ・国際研修センターへの職員派遣に係る経費負担の考え方

等について

**酒井 芳秀委員（自民）** から、

1 道政執行方針について

- ・自治体版ODAの意義
- ・国際協力の取組みの考え方

2 道政改革について

- ・副知事4名体制の是非
- ・道政改革民間フォーラム及び道政改革推進本部の設置目的及び設置時期等
- ・公約に掲げる「新しい定数管理方式を導入した職員の適正配置」及び「民間の経営管理手法を取り入れた、簡素で活動的な道庁づくり」の具体的内容

・職員の現在員数

・条例定数と道政改革との関連

・支庁機能の現状認識

・支庁機能の強化と職員配置の考え方

等について

**小野寺 勇委員（自民）** から、

1 道財政について

・平成6年度の決算見込み

・道税収入の決算見込み

・5定補正、最終補正予算編成の考え方

- ・ 財政関連の指数内容及び全国との比較
  - ・ 知事公約と財源対策
  - ・ 道有林野会計の現状認識
  - ・ 道有林野会計の在り方
- 2 道庁改革について
- ・ 道政をめぐる現状認識
  - ・ 行政改革の考え方

等について

久田 恭弘委員（自民）から、  
行政改革について

- ・ 北海道総合開発委員会条例の見直しの考え方
- ・ 支庁の地域政策室の役割
- ・ 新しい計画策定のための職員配置の考え方
- ・ 新計画と個別計画の調整

等について

山田驥太郎委員（新道政）から、  
道財政について

- ・ 一般財源の充実への取組み
- ・ 法人事業税の状況
- ・ 道税収入の見積もり、算定方法
- ・ 税収の今後の見通し
- ・ 外形標準課税の考え方
- ・ 個人道民税の納税義務者の状況
- ・ 1人当り納税額の状況
- ・ 個人道民税の納税義務者のうち所得税の非課税者の比率等
- ・ 個人住民税の考え方
- ・ 平成6年度自動車税及び道税合計の決算見込み
- ・ 収入未済額の圧縮への取組み
- ・ 徴収対策の効果的な取組み

等について、質疑、意見及び要望があり、総務部長、国際企画課長、人事課長、財政課長及び税務課長から答弁があって、人事委員会、出納局、監査委員及び総務部所管に対する質疑は、総括質疑に保留された事項を除き終結。

- ③ 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することを決定。

## 第2分科会

○7月7日（金） 開議 午後2時26分  
散会 午後2時35分  
第2委員会室  
第2分科委員長

釣部 勲（自民）

### 正副委員長の互選

- ① 分科委員長に釣部 勲委員（自民）、分科副委員長に段坂繁美委員（社会）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、21'道民、公明、新道政各1名計5名の理事を選び、その協議により行うこと、共産についてはオブザーバーとして理事会に出席願うことを決定。理事に伊藤条一委員（自民）、吉田 栄委員（社会）、水野重男委員（21'道民）、荒島 仁委員（公明）、前田康吉委員（新道政）を選出。
- ④ 分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会に諮り決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

○7月11日（火） 開議 午前10時47分  
散会 午後5時28分

第2委員会室  
第2分科委員長

釣部 勲（自民）

- ① 土木部所管に対する質疑に入り、  
久田 恭弘委員（自民）から、  
港湾行政について

- ・ 石狩湾新港が共同管理に至った経緯
- ・ 港湾管理者になるための要件
- ・ 石狩湾新港の埋立ての許可時における小樽市との協議内容
- ・ 海岸道路の整備見通し
- ・ 石狩湾新港と小樽港の機能分担の考え方
- ・ 石狩湾新港の次期港湾計画
- ・ 機能分担にかかる6項目の認識
- ・ 現行計画における取扱貨物量

等について

大橋 晃委員（共産）から、

- 1 ドリームビーチについて
- ・ 占有許可の経緯
  - ・ 占有料を無償にしている理由
  - ・ 駐車場の利用状況
  - ・ 違法行為に対する当事者としての認識
  - ・ 道税の申告をしていないことに対する見解
  - ・ 小樽市海水浴場対策委員会の在り方

- ・前浜の復旧工事にかかる協議の経過
  - ・建築基準法違反に対する認識
  - ・違反建築物と承知した時期
  - ・占有許可をする道の行政責任
  - ・暴力団関係者も含まれている協同組合に対する認識
  - ・道警に対する協力要請
  - ・協同組合に対する指導
  - ・現地調査後の対応
- 2 トナムダムについて
    - ・トナムダムの経過
    - ・ダムの利水量
    - ・調査後の人口推移
    - ・ダム計画の見直し
    - ・人口想定の見直し
    - ・全体計画の見直し
    - ・予算の執行

等について、質疑、意見及び要望があり、土木部長、空港港湾課長及び砂防防災課長から、答弁があつて、土木部及び収用委員会所管に対する質疑を終結。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

加藤 礼一委員（自民）から、

- 1 国の住宅宅地対策審議会の答申について
  - ・高齢化社会への対応
  - ・公営住宅の入居基準に対する見解
  - ・道の五箇年計画の取組方針
- 2 公営住宅について
  - ・地域に配慮した公営住宅の在り方
  - ・補助対象枠の拡大
- 3 道営住宅の建設について
  - ・道営住宅の建設実績と計画
  - ・道と市町村の役割分担
  - ・道営住宅の建設用地選定基準
- 4 高齢化社会への対応などについて
  - ・高齢者の住宅計画
  - ・ケア付き道営住宅の建設計画
- 5 若年者の住宅対策について
  - ・若年者向け住宅の実績
  - ・若年者向け住宅の供給方針

等について

前田 康吉委員（新道政）から、

下水道問題について

- ・下水道の普及状況
- ・新長期計画などの計画値との比較
- ・都市部と郡部の普及率の変遷

- ・都市部と郡部との差の要因
  - ・郡部の今後の取組み
  - ・流域下水道事業の概要
  - ・下水道代行事業の概要
- 等について

萩原 信宏委員（共産）から、

- 1 区画整理の指導・検査について
  - ・広島町虹ヶ丘土地区画整理事業の概要
  - ・入札の執行状況
  - ・逮捕事件の認識
  - ・土地区画整理法による検査の実施
  - ・再発防止の指導
  - ・研修会の内容
- 2 札幌圏都市計画と緑のマスタープランについて
  - ・森林保全の重要性に対する見解
  - ・「緑のマスタープラン」の策定状況
  - ・江別鉄道林の位置付け
  - ・都市計画の変更
  - ・風致地区の指定

等について、質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長、住宅課長、公園下水道課長、都市整備課長及び都市計画課長から答弁があつて、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

③ 農政部所管に対する質疑に入り、

吉田 栄委員（社会）から、

- 1 稲作農業の振興策と将来像について
- 2 水稲の折衷直播栽培について
  - ・折衷直播に対する認識
  - ・折衷直播機の開発改良支援に対する見解
  - ・ほ場均平機の自動化に向けた改良に対する見解
  - ・折衷直播栽培に適した品種開発についての所見
  - ・除草技術の確立及び発芽促進技術の開発についての所見

等について

前田 康吉委員（新道政）から、

花卉野菜の販路拡大について

- ・花卉と野菜の流通上の現状と課題への認識
- ・鮮度を保つ予冷施設の整備に対する考え
- ・産地直販農家の予冷施設の整備への支援策
- ・現在の保冷能力についての評価
- ・保冷車の鮮度保持についての技術改良研究先
- ・道産品の消費者PRに対する取組み
- ・花卉の流通経路の状況

- ・道産花卉の道内需要拡大策
- ・農業情報システムへの取組状況
- ・道産の産地ブランド品の品目と生産実態
- ・道産品の販売戦略についての見解

等について

**大橋 晃委員（共産）** から、  
浜益村「原発用地」にかかわる農地問題について

- ・浜益村原発用地問題の経過
- ・原発用地に係る農地の現況
- ・準金銭消費貸借の方式が異常か否か
- ・農地法違反の状態は解消されたと考えているか否か
- ・農振法が適用されない等不利益をこうむっていることに対する見解
- ・解決に向け道の役割を果たすことへの見解
- ・共和町の場合の道のかかわりと解決への経過
- ・共和町と同様に責任を果たすことへの見解

等について、質疑、意見及び要望があり、農政部長、農地調整課長、農業改良課長、農村計画課長、農産流通課長、畑作園芸課長及び農業企画室参事から答弁があって、農政部所管に対する質疑を終結。

④ **水産部所管に対する質疑**に入り、

**荒島 仁委員（公明）** から、

- 1 漁協の問題について
  - ・漁協合併に対する指導方針
  - ・広域合併推進についての方針
  - ・合併後の地域漁業の振興策
- 2 担い手対策について
  - ・漁業研修所集約についての基本的考え方
  - ・漁業研修所開設までの具体的取り進め方
  - ・「漁村セミナー」の具体的内容
  - ・漁業者の地域活動への参画に対する考え方
- 3 生活環境について
  - ・漁港海岸の整備に対する基本的考え方
  - ・自然と融和した海岸整備の具体的事例
- 4 日本海地域の振興について
  - ・サクラマスの資源増大への取組みの現状
  - ・サクラマスの資源増大への今後の基本的取組み方
  - ・日本海地域の振興の具体的考え方

等について

**萩原 信宏委員（共産）** から、  
水難救難所について

- ・救難所の現状と役割に対する評価
- ・海難事故における出動状況

- ・水難救難所の出動に対する根拠
- ・出動諸経費の負担者
- ・救難所員の身分保障の内容
- ・消防団並みの身分保障の必要性への見解
- ・救難所への補助金拡充への見解
- ・身分保障の法制化を国に求めることへの見解
- ・身分保障条例化への指導方針作成の可否

等について、質疑、意見及び要望があり、水産部長、漁政課長、漁政課参事、栽培漁業課長及び漁港課長から答弁があって、水産部、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会所管に対する質疑を終結。

○7月12日（金） 開議 午前10時23分

閉会 午後2時18分

第2委員会室

第2分科委員長

釣部 勲（自民）

① **商工労働観光部所管に対する質疑**に入り、

**荒島 仁委員（公明）** から、

頭脳立地構想について

- ・頭脳立地構想に対する見解
- ・構想の進捗状況と成果
- ・旭川産業高度化センタービルの事業展開計画
- ・旭川リサーチパークの開発状況及び企業誘致
- ・構想の目標となる特定事業の集積状況
- ・特定事業の集積に伴う工業出荷額の推移
- ・来年度以降の新計画策定作業の進め方
- ・今後の取組み展開についての決意

等について

**萩原 信宏委員（共産）** から、

1 金融問題について

- ・奥尻島復興のための災害資金の融資状況
- ・今後の資金需要予測と融資期間延長の考え方
- ・商工業者に対する融資促進についての見解
- ・北海道信用保証協会への予算措置が前年比較で大幅減となっているが、その内訳と理由
- ・損失保証金を減額する根拠とした代位弁済を少なく見込んだ理由
- ・小企業特別資金の活用実績と補正予算の措置状況
- ・無担保無保証人融資制度の利用率向上に向けた対策
- ・他県及び道内市町村における保証料助成状況並びに道の助成拡充についての見解
- ・おたるドリームビーチの災害復旧に際し、小

樽商工信用組合が小樽海水浴場対策委員会に対して行った、違法と思われる融資の事実関係と道の対応方針

## 2 障害者雇用問題について

- ・障害者雇用状況の推移
- ・障害者の雇用が進んでいない理由
- ・障害者職業能力開発校における教科変更の状況
- ・聴覚障害者の最近の入校及び就職状況
- ・聴覚障害者の雇用職種及び労働環境
- ・障害者の雇用に関し、生活福祉部、受入れ企業及びろうあ連盟と協議を行ってきたか
- ・職域拡大のため、雇用に関する具体的な調査を実施する意向の有無
- ・調査は公共職業安定所が主とのことだが、部としての対応及び63人未満の民間企業への対応
- ・関係団体及び関係企業との話し合い

等について質疑、意見及び要望があり、商工労働観光部長、新技術産業課長、商工金融課長及び職業安定課長から答弁があつて、商工労働観光部及び地方労働委員会所管に対する質疑を終結。

## ② 林務部所管に対する質疑に入り、

萩原 信宏委員（共産）から、

女満別町の林地開発行為について

- ・産廃処理施設に伴う林地開発の経緯
- ・複数の開発行為の一体性の有無
- ・開発行為の一体性の取扱い方
- ・開発区域が所要面積を越えたかの有無
- ・過去5年間の違反行為の件数及び指導監督の必要性の有無
- ・小規模林地開発も林地開発に準じた対応とすべきことへの可否
- ・林地開発には慎重な対応をすべきことへの見解

等について、質疑、意見及び要望があり、林務部長及び治山課参事から答弁があつて、林務部所管に対する質疑を終結。

## ③ 教育委員会所管に対する質疑に入り、

丸岩 公充委員（自民）から、

### 1 学校週5日制について

- ・学習塾通いの実態等
- ・留守家庭児童の実態
- ・子供たちを指導する指導者の養成
- ・学校週5日制に伴う問題行動の認識
- ・いじめ問題と学校週5日制との関連

- ・学校週5日制に伴う今後の取組方針

### 2 生涯学習フェスティバルについて

- ・生涯学習フェスティバルの意義や趣旨
- ・生涯学習の意識啓発をいまだ必要とする根拠
- ・北海道大会で特に配慮した事業内容
- ・今回のフェスティバルの事業に対する見解
- ・フェスティバルが長期間にわたることに対する見解
- ・生涯学習フェスティバルの必要性や学校教育での位置付け

等について

萩原 信宏委員（共産）から、

学校と労働安全衛生法について

- ・学校保健法と労働安全衛生法の違い
- ・教職員の健康管理のための教育委員会の責任
- ・本道教職員の長期欠勤等の実態
- ・衛生管理者や衛生推進者の配置状況
- ・道立学校の状況
- ・労働安全衛生法の適用について認識した時期
- ・衛生委員会の設置状況
- ・全国最悪状態の改善に対する見解
- ・道立学校の男女別トイレ・休憩室の整備状況
- ・男女別トイレ未設置校の解消策
- ・労働安全衛生体制の整備に対する見解
- ・これまでの取り組みに対する見解

等について、質疑、意見及び要望があり、教育長、生涯学習部長、企画管理部長、学校教育課長、福利課長及び企画室参事から答弁があつて、教育委員会所管に対する質疑を終結。

## ④ 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することを決定。

○7月13日（木） 開議 午後3時19分

散会 午後5時5分

第1委員会室

委員長 鈴木 泰行（社会）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② 知事に対する総括質疑に入り、

清水 誠一委員（自民）から、

新長期総合計画の中間点検について

- ・推進計画と点検結果との整合性
- ・実効性のある推進計画の策定

酒井 芳秀委員（自民）から、

### 1 施策とその効果について

- ・12年間の施策の効果に対する認識

- ・道政運営の決意
- 2 地域生活経済圏と地域振興機構について
  - ・地域生活経済圏構想と次期計画との関連
  - ・地域振興機構に対する考え方
- 3 支庁の機能強化について
  - ・財源、権限の強化及び職員配置についての考え方

小野寺 勇委員（自民）から、

- 1 財政問題について
  - ・道財政の状況に対する認識
  - ・今後の財政運営に対する見解
- 2 道庁改革について
  - ・行政改革に対する取組み
  - ・公約に掲げた機構改革に対する見解
  - ・オンブズマンに対する見解
  - ・現在の行革大綱の推進管理状況

等について、質疑、意見及び要望があり、知事から答弁。

○7月14日（金） 開議 午前10時5分  
 閉会 午前11時50分  
 第1委員会室  
 委員長 鈴木 泰行（社会）

- ① 知事に対する総括質疑の続行、  
 久田 恭弘委員（自民）から、
  - 1 次期総合計画について
    - ・策定のスケジュール
    - ・基本的な考え方
    - ・目指す方向性と内容
    - ・北海道総合開発委員会への対応
  - 2 ほくとう銀河プランについて
    - ・次期総合計画に対する位置付けの考え方
  - 3 新計画策定と道議会の関係について
    - ・策定手順と道議会に対する報告の考え方
 等について、質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があつて、総括質疑を終結。
- ② 付託案件に対する意見の調整は、理事会において行うことを決定。
- ③ 理事会における意見調整の結果、議案第1号は意見の一致を見るに至らなかった旨の報告の後、これを問題とし、萩原信宏委員（共産）から反対討論の後、採決に入り、起立多数をもって原案のとおり可決することを決定。
- ④ 議案第2号ないし第7号を一括議題とし、原案のとおり可決することを決定。
- ⑤ 釣部 勲委員（自民）から、別紙の附帯意見

を委員長報告に挿入されたい旨の動議があり、これを諮って動議成立。萩原信宏委員（共産）から反対討論の後、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって本動議のとおり可決することを決定。

- ⑥ 付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することを決定。
- ⑦ 委員長から、付託案件の審査終了に当たり、挨拶があつて閉会。

# 資 料

## 第17回参議院議員通常選挙結果

(平成7年7月23日執行)

### 全国党派別当選者数等調

党 派	当 選 者									
	合 計	比 例 代 表				選 挙 区				
		前	元	新	計	前	元	新	計	
自 民 派	49	6	1	8	15	15	1	18	34	
新 進 会	40	6	—	12	18	4	—	18	22	
社 会 党	16	6	—	3	9	6	—	1	7	
共 産 党	8	2	—	3	5	—	—	3	3	
さ き が け 連 帯 民 主 党	3	1	—	1	2	—	—	1	1	
民 改 連 帯 平 和 市 民 党	2	—	—	—	—	1	—	1	2	
平 和 市 民 党	1	—	—	—	—	1	—	—	1	
二 院 ク 属 無 所 属	1	—	—	1	1	—	—	—	—	
無 所 属	6	—	—	—	—	—	—	6	6	
合 計	126	21	1	28	50	27	1	48	76	

### 全国党派別立候補者数・得票数調

党 派	立 候 補 者										得 票 状 況			
	合 計	比 例 代 表				選 挙 区				比 例 代 表		選 挙 区		
		前	元	新	計	前	元	新	計	得 票 数	得 票 率	得 票 数	得 票 率	
自 民 派	66	10	1	18	29	17	1	19	37	11,096,972	27.29	10,557,547	25.40	
新 進 会	62	6	—	24	30	4	—	28	32	12,506,322	30.75	11,003,681	26.47	
社 会 党	40	9	—	9	18	16	—	6	22	6,882,919	16.92	4,926,003	11.85	
共 産 党	72	3	—	22	25	1	—	46	47	3,873,955	9.53	4,314,830	10.38	
さ き が け 連 帯 民 主 党	15	1	—	9	10	—	—	5	5	1,455,886	3.58	1,059,353	2.55	
民 改 連 帯 平 和 市 民 党	11	—	—	—	—	8	—	3	11	—	—	1,854,175	4.46	
平 和 市 民 党	7	1	—	3	4	2	—	1	3	377,786	0.93	579,377	1.33	
二 院 ク 属 無 所 属	5	1	—	4	5	—	—	—	—	1,282,596	3.15	—	—	
ス ポ ー ツ 平 和 連 帯 諸 派 無 所 属	3	1	1	1	3	—	—	—	—	541,894	1.33	—	—	
連 帯 諸 派	11	1	—	2	3	—	—	8	8	48,516	0.12	129,778	0.31	
諸 派	228	—	—	54	54	—	1	173	174	2,601,414	6.04	1,028,214	2.47	
無 所 属	47	—	—	—	—	8	1	38	47	—	—	6,120,097	14.72	
合 計	567	33	2	146	181	56	3	327	386	40,668,260	100.00	41,573,055	100.00	

都道府県別党派別当選者数調（選挙区）

都道府県名	定数	自民	新進	社会	共産	さきがけ	民改連	平和市民	無所属
北海道	2	—	1	1	—	—	—	—	—
青森県	1	—	1	—	—	—	—	—	—
岩手県	1	—	1	—	—	—	—	—	—
宮城県	2	1	—	—	—	—	—	—	1
秋田県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
山形県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
福島県	2	1	1	—	—	—	—	—	—
茨城県	2	1	1	—	—	—	—	—	—
栃木県	2	1	—	—	—	—	1	—	—
群馬県	2	1	—	1	—	—	—	—	—
埼玉県	3	1	1	—	1	—	—	—	—
千葉県	2	1	1	—	—	—	—	—	—
東京都	4	1	1	—	1	—	—	1	—
神奈川県	3	1	1	1	—	—	—	—	—
新潟県	2	1	1	—	—	—	—	—	—
富山県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
石川県	1	—	—	—	—	—	—	—	1
福井県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
山梨県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
長野県	2	—	1	1	—	—	—	—	—
岐阜県	2	1	1	—	—	—	—	—	—
静岡県	2	1	1	—	—	—	—	—	—
愛知県	3	1	1	—	—	—	—	—	1
三重県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
滋賀県	1	—	—	—	—	1	—	—	—
京都府	2	1	—	—	—	—	1	—	—
大阪府	3	1	1	—	1	—	—	—	—
兵庫県	2	1	1	—	—	—	—	—	—
奈良県	1	—	1	—	—	—	—	—	—
和歌山県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
鳥取県	1	—	—	—	—	—	—	—	1
島根県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
岡山県	2	1	1	—	—	—	—	—	—
広島県	2	1	1	—	—	—	—	—	—
山口県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
徳島県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
香川県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
愛媛県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
高知県	1	—	—	—	—	—	—	—	1
福岡県	2	—	1	1	—	—	—	—	—
佐賀県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
長崎県	1	—	1	—	—	—	—	—	—
熊本県	2	1	1	—	—	—	—	—	—
大分県	1	—	—	1	—	—	—	—	—
宮崎県	1	1	—	—	—	—	—	—	—
鹿児島県	2	1	—	1	—	—	—	—	—
沖縄県	1	—	—	—	—	—	—	—	1
計	76	34	22	7	3	1	2	1	6

# 参議院議員通常選挙投票結果（選挙区）

## 1 総括

支庁市名	選挙当日の有権者数			投票者数			棄権者数			投票率(%)			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	前回
石狩支庁	48,740	52,332	101,072	24,521	25,462	49,983	24,219	26,870	51,089	50.31	48.65	49.45	62.26
渡島支庁	65,661	73,486	139,147	29,491	33,858	63,349	36,170	39,628	75,798	44.91	46.07	45.53	57.24
檜山支庁	22,310	24,545	46,855	12,224	13,888	26,112	10,086	10,657	20,743	54.79	56.58	55.73	66.24
後志支庁	44,919	50,207	95,126	24,403	26,368	50,771	20,516	23,839	44,355	54.33	52.52	53.37	65.08
空知支庁	41,091	45,681	86,772	24,880	26,025	50,905	16,211	19,656	35,867	60.55	56.97	58.67	72.51
上川支庁	43,660	48,112	91,772	26,734	27,194	53,928	16,926	20,918	37,844	61.23	56.52	58.76	69.38
留萌支庁	15,417	17,488	32,905	9,610	10,710	20,320	5,807	6,778	12,585	62.33	61.24	61.75	72.71
宗谷支庁	14,682	16,081	30,763	9,642	10,625	20,267	5,040	5,456	10,496	65.67	66.07	65.88	78.69
網走支庁	61,161	66,898	128,059	34,504	35,207	69,711	26,657	31,691	58,348	56.42	52.63	54.44	69.03
胆振支庁	27,640	30,687	58,327	15,169	16,452	31,621	12,471	14,235	26,706	54.88	53.61	54.21	68.66
日高支庁	33,507	35,867	69,374	17,921	19,374	37,295	15,586	16,493	32,079	53.48	54.02	53.76	69.66
十勝支庁	69,982	76,342	146,324	39,712	41,370	81,082	30,270	34,972	65,242	56.75	54.19	55.41	68.37
釧路支庁	32,637	35,000	67,637	17,193	18,373	35,566	15,444	16,627	32,071	52.68	52.49	52.58	61.18
根室支庁	19,808	20,516	40,324	9,479	9,649	19,128	10,329	10,867	21,196	47.85	47.03	47.44	60.72
<b>町村計</b>	<b>541,215</b>	<b>593,242</b>	<b>1,134,457</b>	<b>295,483</b>	<b>314,555</b>	<b>610,038</b>	<b>245,732</b>	<b>278,687</b>	<b>524,419</b>	<b>54.60</b>	<b>53.02</b>	<b>53.77</b>	<b>66.44</b>
札幌市	644,715	712,055	1,356,770	295,409	322,036	617,445	349,306	390,019	739,325	45.82	45.23	45.51	56.02
函館市	106,620	129,698	236,318	41,382	48,034	89,416	65,238	81,664	146,902	38.81	37.04	37.84	49.01
小樽市	57,741	70,546	128,287	27,122	31,403	58,525	30,619	39,143	69,762	46.97	44.51	45.62	58.65
旭川市	132,797	151,515	284,312	56,274	59,464	115,738	76,523	92,051	168,574	42.38	39.25	40.71	53.05
室蘭市	43,489	46,875	90,364	19,625	21,063	40,688	23,864	25,812	49,676	45.13	44.93	45.03	59.45
釧路市	73,567	80,919	154,486	33,557	36,941	70,498	40,010	43,978	83,988	45.61	45.65	45.63	55.49
帯広市	63,098	68,451	131,549	26,738	27,061	53,799	36,360	41,390	77,750	42.38	39.53	40.90	54.43
北見市	40,317	44,024	84,341	16,639	16,939	33,578	23,678	27,085	50,763	41.27	38.48	39.81	53.35
夕張市	7,253	8,119	15,372	4,075	4,523	8,598	3,178	3,596	6,774	56.18	55.71	55.93	69.95
岩見沢市	30,984	35,216	66,200	14,252	15,033	29,285	16,732	20,183	36,915	46.00	42.69	44.24	56.12
網走市	16,314	17,047	33,361	7,302	7,351	14,653	9,012	9,696	18,708	44.76	43.12	43.92	56.69
留萌市	11,468	12,416	23,884	5,745	5,581	11,326	5,723	6,835	12,558	50.10	44.95	47.42	59.82
苫小牧市	61,639	65,696	127,335	26,197	27,785	53,982	35,442	37,911	73,353	42.50	42.29	42.39	55.60
稚内市	17,521	18,323	35,844	7,899	7,939	15,838	9,622	10,384	20,006	45.08	43.33	44.19	60.63
美唄市	12,628	14,024	26,652	6,490	6,836	13,326	6,138	7,188	13,326	51.39	48.75	50.00	63.45
芦別市	8,970	10,140	19,110	4,704	5,043	9,747	4,266	5,097	9,363	52.44	49.73	51.00	65.78
江別市	41,256	44,210	85,466	19,904	21,214	41,118	21,352	22,996	44,348	48.25	47.98	48.11	62.50
赤平市	6,914	7,897	14,811	3,690	4,114	7,804	3,224	3,783	7,007	53.37	52.10	52.69	65.69
紋別市	11,471	12,243	23,714	4,862	5,067	9,929	6,609	7,176	13,785	42.39	41.39	41.87	55.10
士別市	9,258	10,497	19,755	4,664	4,727	9,391	4,594	5,770	10,364	50.38	45.03	47.54	61.05
名寄市	11,043	11,710	22,753	6,525	6,110	12,635	4,518	5,600	10,118	59.09	52.18	55.53	69.84
三笠市	6,033	7,150	13,183	3,436	4,045	7,481	2,597	3,105	5,702	56.95	56.57	56.75	69.51
根室市	13,095	14,469	27,564	5,759	5,936	11,695	7,336	8,533	15,869	43.98	41.03	42.43	49.18
千歳市	33,336	30,331	63,667	17,571	13,645	31,216	15,765	16,686	32,451	52.71	44.99	49.03	63.41
滝川市	17,872	20,176	38,048	8,684	9,052	17,736	9,188	11,124	20,312	48.59	44.87	46.61	58.80
砂川市	8,223	9,276	17,499	4,539	5,008	9,547	3,684	4,268	7,952	55.20	53.99	54.56	68.63
歌志内市	2,834	3,240	6,074	1,794	2,020	3,814	1,040	1,220	2,260	63.30	62.35	62.79	76.83
深川市	10,665	12,479	23,144	5,241	5,585	10,826	5,424	6,894	12,318	49.14	44.76	46.78	57.10
富良野市	9,810	10,970	20,780	4,811	4,803	9,614	4,999	6,167	11,166	49.04	43.78	46.27	61.28
登別市	21,338	23,546	44,884	9,490	9,825	19,315	11,848	13,721	25,569	44.47	41.73	43.03	59.51
恵庭市	23,444	22,953	46,397	12,746	11,279	24,025	10,698	11,674	22,372	54.37	49.14	51.78	66.42
伊達市	12,967	15,008	27,975	6,140	6,534	12,674	6,827	8,474	15,301	47.35	43.54	45.30	61.79
<b>市計</b>	<b>1,568,680</b>	<b>1,741,219</b>	<b>3,309,899</b>	<b>713,266</b>	<b>761,996</b>	<b>1,475,262</b>	<b>855,414</b>	<b>979,223</b>	<b>1,834,637</b>	<b>45.47</b>	<b>43.76</b>	<b>44.57</b>	<b>56.44</b>
<b>全道計</b>	<b>2,109,895</b>	<b>2,334,461</b>	<b>4,444,356</b>	<b>1,008,749</b>	<b>1,076,551</b>	<b>2,085,300</b>	<b>1,101,146</b>	<b>1,257,910</b>	<b>2,359,056</b>	<b>47.81</b>	<b>46.12</b>	<b>46.92</b>	<b>59.04</b>

## 2 候補者別得票数

### (1) 支庁・市区别

支庁市名	吉野悦子 (諸・新)	小川勝也 (新進・新)	木本由孝 (自・新)	すがの久光 (社・現)	高崎ゆう子 (共・現)	前谷 宏 (無・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者数
石狩支庁	859	11,594	11,491	12,919	10,710	555	48,128	1,850	49,978	49,983
渡島支庁	1,173	14,055	19,052	16,501	9,660	607	61,048	2,293	63,341	63,349
檜山支庁	435	4,853	8,161	6,573	4,620	208	24,850	1,258	26,108	26,112
後志支庁	941	11,257	14,322	12,963	8,875	413	48,771	1,997	50,768	50,771
空知支庁	1,496	10,160	15,058	12,904	8,789	600	49,007	1,897	50,904	50,905
上川支庁	958	12,870	12,974	18,393	6,363	450	52,108	1,916	53,924	53,928
留萌支庁	280	4,613	6,452	5,873	2,205	147	19,570	749	20,319	20,320
宗谷支庁	293	4,873	5,684	5,398	2,843	190	19,281	984	20,265	20,267
網走支庁	1,185	12,309	22,846	22,395	7,878	622	67,235	2,475	69,710	69,711
胆振支庁	604	7,437	8,390	8,193	5,403	339	30,366	1,247	31,613	31,621
日高支庁	587	7,281	10,005	10,997	6,751	328	35,949	1,345	37,294	37,295
十勝支庁	2,018	12,397	23,802	27,728	11,825	690	78,460	2,618	81,078	81,082
釧路支庁	1,064	12,652	7,275	7,744	5,312	243	34,290	1,276	35,566	35,566
根室支庁	524	5,424	5,415	4,609	2,296	168	18,436	689	19,125	19,128
<b>町 村 計</b>	<b>12,417</b>	<b>131,775</b>	<b>170,927</b>	<b>173,190</b>	<b>93,530</b>	<b>5,560</b>	<b>587,399</b>	<b>22,594</b>	<b>609,993</b>	<b>610,038</b>
札幌市	11,931	160,589	138,250	141,087	140,763	8,338	600,958	16,439	617,397	617,445
中央区	1,404	15,041	15,405	11,681	12,555	743	56,829	1,922	58,751	58,758
北区	1,538	21,419	24,931	19,832	20,783	1,062	89,565	2,101	91,666	91,678
東区	1,523	21,491	17,123	17,819	22,365	1,073	81,394	1,919	83,313	83,320
白石区	1,038	18,163	11,663	13,971	15,601	892	61,328	1,615	62,943	62,945
厚別区	924	11,684	8,514	11,103	11,312	650	44,187	1,134	45,321	45,326
豊平区	2,040	27,915	21,543	23,212	20,559	1,622	96,891	2,850	99,741	99,745
南区	1,123	15,059	15,794	13,947	10,946	732	57,601	1,782	59,383	59,389
西区	1,282	18,269	14,863	17,072	16,041	872	68,399	1,927	70,326	70,327
手稲区	1,059	11,548	8,414	12,450	10,601	692	44,764	1,189	45,953	45,957
函館市	1,565	22,985	18,236	25,184	17,196	1,090	86,256	3,153	89,409	89,416
小樽市	831	14,919	10,545	14,915	14,998	481	56,689	1,834	58,523	58,525
旭川市	1,806	29,277	23,048	38,108	20,293	767	113,299	2,438	115,737	115,738
室蘭市	472	11,034	6,884	12,267	8,035	333	39,025	1,663	40,688	40,688
釧路市	1,403	24,576	10,710	18,277	12,708	493	68,167	2,327	70,494	70,498
帯広市	1,602	11,708	14,118	14,702	9,377	504	52,011	1,787	53,798	53,799
北見市	888	7,115	7,942	10,635	5,695	307	32,582	995	33,577	33,578
夕張市	59	1,827	1,236	3,307	1,786	42	8,257	341	8,598	8,598
岩見沢市	549	6,455	5,716	9,389	5,733	349	28,191	1,094	29,285	29,285
網走市	248	3,080	3,783	4,425	2,440	116	14,092	561	14,653	14,653

支庁市名	吉野悦子 (諸・新)	小川勝也 (新進・新)	木本由孝 (自・新)	すがの久光 (社・現)	高崎ゆう子 (共・現)	前谷 宏 (無・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者数
留 萌 市	179	2,424	2,948	3,964	1,480	85	11,080	245	11,325	11,326
苫小牧市	978	14,616	8,748	15,420	11,985	521	52,268	1,713	53,981	53,982
稚 内 市	194	4,259	3,429	4,402	2,850	145	15,279	557	15,836	15,838
美 唄 市	272	2,861	3,094	4,237	2,235	109	12,808	515	13,323	13,326
芦 別 市	198	2,280	2,021	3,047	1,844	45	9,435	312	9,747	9,747
江 別 市	687	10,126	7,650	12,094	8,892	378	39,827	1,290	41,117	41,118
赤 平 市	81	1,861	1,221	2,728	1,524	37	7,452	352	7,804	7,804
紋 別 市	208	2,111	2,694	2,996	1,425	112	9,546	382	9,928	9,929
士 別 市	142	2,500	1,816	3,278	1,367	46	9,149	241	9,390	9,391
名 寄 市	146	2,604	4,112	3,714	1,401	100	12,077	558	12,635	12,635
三 笠 市	116	1,651	1,285	2,941	1,242	46	7,281	200	7,481	7,481
根 室 市	236	3,189	2,983	2,230	2,491	123	11,252	443	11,695	11,695
千 歳 市	789	9,348	10,662	4,928	3,265	549	29,541	1,671	31,212	31,216
滝 川 市	395	4,202	4,098	5,308	2,941	176	17,120	614	17,734	17,736
砂 川 市	140	2,337	1,773	3,252	1,725	75	9,302	245	9,547	9,547
歌 志 内 市	45	699	523	1,416	939	17	3,639	175	3,814	3,814
深 川 市	328	1,904	2,515	3,326	2,249	89	10,411	415	10,826	10,826
富 良 野 市	179	1,932	2,304	3,386	1,362	85	9,248	365	9,613	9,614
登 別 市	274	5,317	3,038	6,400	3,372	153	18,554	758	19,312	19,315
恵 庭 市	503	6,311	7,938	4,686	3,378	333	23,149	876	24,025	24,025
伊 達 市	245	3,267	2,560	3,790	2,193	112	12,167	505	12,672	12,674
市 計	27,689	379,364	317,880	389,839	299,184	16,156	1,430,112	45,064	1,475,176	1,475,262
全 道 計	40,106	511,139	488,807	563,029	392,714	21,716	2,017,511	67,658	2,085,169	2,085,300

(2) 町村別

町 村 名	吉野悦子 (諸・新)	小川勝也 (新進・新)	木本由孝 (自・新)	すがの久光 (社・現)	高崎ゆう子 (共・現)	前谷 宏 (無・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者数
広 島 町	429	4,822	3,592	5,685	4,150	252	18,930	836	19,766	19,769
石 狩 町	254	4,374	4,261	4,566	3,810	170	17,435	533	17,968	17,970
当 別 町	125	1,532	2,084	1,606	1,893	93	7,333	278	7,611	7,611
新 篠 津 村	26	219	774	287	364	26	1,696	68	1,764	1,764
厚 田 村	19	465	388	345	156	5	1,378	73	1,451	1,451
浜 益 村	6	182	392	430	337	9	1,356	62	1,418	1,418
石狩支庁計	859	11,594	11,491	12,919	10,710	555	48,128	1,850	49,978	49,983

町 村 名	吉野悦子 (諸・新)	小川勝也 (新進・新)	木本由孝 (自・新)	すがの久光 (社・現)	高崎ゆう子 (共・現)	前谷 宏 (無・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者数
松 前 町	118	1,299	1,711	1,023	477	43	4,671	142	4,813	4,814
福 島 町	60	663	1,165	493	379	27	2,787	101	2,888	2,888
知 内 町	22	633	855	487	169	10	2,176	85	2,261	2,261
木古内町	42	518	1,013	803	364	19	2,759	86	2,845	2,845
上 磯 町	177	2,427	2,125	2,978	1,805	103	9,615	359	9,974	9,975
大 野 町	73	663	1,068	862	611	39	3,316	161	3,477	3,477
七 飯 町	178	2,212	2,000	3,037	1,875	91	9,393	330	9,723	9,724
戸 井 町	42	335	791	290	297	22	1,777	52	1,829	1,829
恵 山 町	35	412	940	385	224	7	2,003	95	2,098	2,098
椴法華村	8	110	268	216	65	6	673	30	703	703
南茅部町	72	623	1,422	583	373	33	3,106	93	3,199	3,200
鹿 部 町	31	319	811	368	180	29	1,738	66	1,804	1,805
砂 原 町	32	397	625	315	236	13	1,618	75	1,693	1,693
森 町	134	1,186	1,562	1,388	777	38	5,085	206	5,291	5,292
八 雲 町	100	1,513	1,809	1,904	1,256	92	6,674	237	6,911	6,913
長万部町	49	745	887	1,369	572	35	3,657	175	3,832	3,832
<b>渡島支庁計</b>	<b>1,173</b>	<b>14,055</b>	<b>19,052</b>	<b>16,501</b>	<b>9,660</b>	<b>607</b>	<b>61,048</b>	<b>2,293</b>	<b>63,341</b>	<b>63,349</b>
江 差 町	83	896	1,088	1,394	1,134	26	4,621	261	4,882	4,882
上ノ国町	44	447	1,021	940	359	16	2,827	133	2,960	2,960
厚沢部町	34	558	858	806	360	23	2,639	131	2,770	2,772
乙 部 町	27	446	735	453	681	15	2,357	100	2,457	2,457
熊 石 町	61	463	616	476	264	14	1,894	105	1,999	1,999
大 成 町	18	284	626	321	394	21	1,664	110	1,774	1,774
奥 尻 町	48	530	773	247	296	47	1,941	155	2,096	2,096
瀬 棚 町	20	203	781	281	178	13	1,476	94	1,570	1,570
北 檜 山 町	29	521	928	679	542	22	2,721	96	2,817	2,819
今 金 町	71	505	735	976	412	11	2,710	73	2,783	2,783
<b>檜山支庁計</b>	<b>435</b>	<b>4,853</b>	<b>8,161</b>	<b>6,573</b>	<b>4,620</b>	<b>208</b>	<b>24,850</b>	<b>1,258</b>	<b>26,108</b>	<b>26,112</b>
島 牧 村	20	300	442	247	247	6	1,262	37	1,299	1,299
寿 都 町	31	458	593	537	520	13	2,152	91	2,243	2,243
黒松内町	32	305	447	557	564	22	1,927	81	2,008	2,008
蘭 越 町	54	759	848	816	438	33	2,948	130	3,078	3,078
ニセコ町	74	451	753	457	351	20	2,106	80	2,186	2,186
真 狩 村	55	242	572	397	155	24	1,445	75	1,520	1,520
留 寿 都 村	8	165	246	225	141	9	794	32	826	826

町村名	吉野悦子 (諸・新)	小川勝也 (新進・新)	木本由孝 (自・新)	すがの久光 (社・現)	高崎ゆう子 (共・現)	前谷 宏 (無・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者数
喜茂別町	34	356	500	639	138	25	1,692	98	1,790	1,790
京極町	51	336	748	429	133	14	1,711	50	1,761	1,761
俱知安町	90	1,539	2,185	1,768	926	57	6,565	321	6,886	6,888
共和町	62	803	792	874	301	16	2,848	95	2,943	2,943
岩内町	122	1,729	1,626	1,483	1,046	42	6,048	176	6,224	6,224
泊 村	17	302	297	291	190	9	1,106	139	1,245	1,245
神恵内村	10	180	223	252	113	3	781	29	810	810
積丹町	22	402	560	364	209	12	1,569	79	1,648	1,648
古平町	53	329	527	329	357	8	1,603	74	1,677	1,677
仁木町	39	351	562	533	496	29	2,010	121	2,131	2,131
余市町	154	2,125	2,202	2,592	2,402	60	9,535	260	9,795	9,796
赤井川村	13	125	199	173	148	11	669	29	698	698
<b>後志支庁計</b>	<b>941</b>	<b>11,257</b>	<b>14,322</b>	<b>12,963</b>	<b>8,875</b>	<b>413</b>	<b>48,771</b>	<b>1,997</b>	<b>50,768</b>	<b>50,771</b>
北 村	25	412	541	432	337	28	1,775	70	1,845	1,845
栗沢町	107	740	1,023	1,307	582	34	3,793	105	3,898	3,898
南幌町	44	900	1,111	701	592	37	3,385	115	3,500	3,500
奈井江町	89	698	960	1,061	755	31	3,594	90	3,684	3,684
上砂川町	32	617	393	1,431	820	29	3,322	120	3,442	3,442
由仁町	106	724	1,055	876	550	40	3,351	152	3,503	3,504
長沼町	122	1,059	1,772	984	1,136	93	5,166	232	5,398	5,398
栗山町	99	1,390	1,608	1,735	1,186	109	6,127	253	6,380	6,380
月形町	67	469	666	577	234	17	2,030	149	2,179	2,179
浦白町	17	234	434	231	244	12	1,172	32	1,204	1,204
新十津川町	102	808	1,423	922	740	35	4,030	138	4,168	4,168
妹背牛町	289	350	900	368	347	31	2,285	143	2,428	2,428
秩父別町	58	304	768	293	228	21	1,672	58	1,730	1,730
雨竜町	80	367	523	520	261	25	1,776	64	1,840	1,840
北竜町	57	288	770	375	161	30	1,681	52	1,733	1,733
沼田町	178	458	696	696	442	21	2,491	81	2,572	2,572
幌加内町	24	342	415	395	174	7	1,357	43	1,400	1,400
<b>空知支庁計</b>	<b>1,496</b>	<b>10,160</b>	<b>15,058</b>	<b>12,904</b>	<b>8,789</b>	<b>600</b>	<b>49,007</b>	<b>1,897</b>	<b>50,904</b>	<b>50,905</b>
鷹栖町	83	604	646	1,067	418	35	2,853	128	2,981	2,982
東神楽町	41	551	338	1,344	385	18	2,677	98	2,775	2,775
当麻町	54	834	861	893	386	18	3,046	88	3,134	3,134
比布町	25	383	652	683	385	19	2,147	69	2,216	2,216

町 村 名	吉野悦子 (諸・新)	小川勝也 (新進・新)	木本由孝 (自・新)	すがの久光 (社・現)	高崎ゆう子 (共・現)	前谷 宏 (無・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者数
愛 別 町	27	502	683	624	222	14	2,072	77	2,149	2,149
上 川 町	29	485	436	1,536	296	11	2,793	101	2,894	2,894
東 川 町	53	708	639	844	476	22	2,742	72	2,814	2,814
美 瑛 町	232	996	1,299	2,132	915	43	5,617	179	5,796	5,796
上富良野町	133	1,310	2,336	1,116	563	88	5,546	351	5,897	5,897
中富良野町	69	500	786	854	364	33	2,606	91	2,697	2,697
南富良野町	28	260	337	735	134	15	1,509	49	1,558	1,558
占 冠 村	7	125	165	413	64	2	776	19	795	795
和 寒 町	17	2,367	246	498	212	4	3,344	77	3,421	3,421
剣 淵 町	31	624	349	659	432	34	2,129	95	2,224	2,224
朝 日 町	5	230	364	539	147	6	1,291	36	1,327	1,327
風 連 町	38	722	685	1,137	196	27	2,805	90	2,895	2,897
下 川 町	36	572	680	1,030	185	20	2,523	77	2,600	2,601
美 深 町	32	748	898	1,239	411	30	3,358	143	3,501	3,501
音威子府村	6	121	153	380	73	6	739	20	759	759
中 川 町	12	228	421	670	99	5	1,435	56	1,491	1,491
<b>上川支庁計</b>	<b>958</b>	<b>12,870</b>	<b>12,974</b>	<b>18,393</b>	<b>6,363</b>	<b>450</b>	<b>52,008</b>	<b>1,916</b>	<b>53,924</b>	<b>53,928</b>
増 毛 町	37	754	964	979	402	23	3,159	97	3,256	3,256
小 平 町	52	578	921	681	227	15	2,474	149	2,623	2,623
苫 前 町	29	545	687	842	263	14	2,380	77	2,457	2,457
羽 幌 町	55	1,017	1,447	1,438	441	24	4,422	171	4,593	4,593
初 山 別 村	13	244	371	373	103	9	1,113	36	1,149	1,149
遠 別 町	22	468	723	568	168	17	1,966	66	2,032	2,032
天 塩 町	42	588	736	684	293	25	2,368	79	2,447	2,447
幌 延 町	30	419	603	308	308	20	1,688	74	1,762	1,763
<b>留萌支庁計</b>	<b>280</b>	<b>4,613</b>	<b>6,452</b>	<b>5,873</b>	<b>2,205</b>	<b>147</b>	<b>19,570</b>	<b>749</b>	<b>20,319</b>	<b>20,320</b>
猿 払 村	15	287	467	446	221	11	1,447	45	1,492	1,492
浜 頓 別 町	25	432	504	1,008	366	11	2,346	98	2,444	2,444
中 頓 別 町	14	196	404	615	253	8	1,490	69	1,559	1,559
枝 幸 町	34	892	889	922	457	26	3,220	104	3,324	3,326
歌 登 町	12	362	442	497	181	19	1,513	100	1,613	1,613
豊 富 町	47	509	568	856	519	26	2,525	162	2,687	2,687
礼 文 町	50	734	823	391	323	36	2,357	151	2,508	2,508
利 尻 町	53	706	704	315	264	13	2,055	138	2,193	2,193
利尻富士町	43	755	883	348	259	40	2,328	117	2,445	2,445

町 村 名	吉野悦子 (諸・新)	小川勝也 (新進・新)	木本由孝 (自・新)	すがの久光 (社・現)	高崎ゆう子 (共・現)	前谷 宏 (無・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者数
<b>宗谷支庁計</b>	<b>293</b>	<b>4,873</b>	<b>5,684</b>	<b>5,398</b>	<b>2,843</b>	<b>190</b>	<b>19,281</b>	<b>984</b>	<b>20,265</b>	<b>20,267</b>
東藻琴村	36	260	375	356	295	12	1,334	54	1,388	1,388
女満別町	36	697	932	597	251	20	2,533	96	2,629	2,629
美幌町	162	2,078	3,500	2,286	1,035	101	9,162	369	9,531	9,532
津別町	41	464	874	1,250	472	16	3,117	94	3,211	3,211
斜里町	77	928	1,659	2,245	732	49	5,690	272	5,962	5,962
清里町	51	371	772	1,162	147	17	2,520	93	2,613	2,613
小清水町	44	417	744	808	424	18	2,455	138	2,593	2,593
端野町	27	407	786	575	253	14	2,062	78	2,140	2,140
訓子府町	55	395	771	738	523	26	2,508	76	2,584	2,584
置戸町	29	289	765	860	219	9	2,171	56	2,227	2,227
留辺蘂町	53	802	1,072	1,782	521	29	4,259	171	4,430	4,430
佐呂間町	59	492	1,255	991	333	49	3,179	103	3,282	3,282
常呂町	39	416	774	624	239	28	2,120	73	2,193	2,193
生田原町	33	281	465	519	204	12	1,514	64	1,578	1,578
遠軽町	161	1,372	2,459	2,486	599	80	7,157	247	7,404	7,404
丸瀬布町	36	144	516	659	133	9	1,497	36	1,533	1,533
白滝村	16	111	409	349	37	3	925	28	953	953
上湧別町	43	516	1,109	1,104	349	19	3,140	86	3,226	3,226
湧別町	40	498	1,148	579	166	32	2,463	86	2,549	2,549
滝上町	28	415	746	916	128	20	2,253	81	2,334	2,334
興部町	43	412	754	779	246	32	2,266	92	2,358	2,358
西興部村	13	146	294	242	70	7	772	18	790	790
雄武町	63	398	667	488	502	20	2,138	64	2,202	2,202
<b>網走支庁計</b>	<b>1,185</b>	<b>12,309</b>	<b>22,846</b>	<b>22,395</b>	<b>7,878</b>	<b>622</b>	<b>67,235</b>	<b>2,475</b>	<b>69,710</b>	<b>69,711</b>
豊浦町	60	559	763	558	331	32	2,303	101	2,404	2,404
虻田町	55	1,118	799	1,264	582	45	3,863	127	3,990	3,992
洞爺村	29	217	406	159	129	11	951	54	1,005	1,005
大滝村	28	262	256	187	96	25	854	67	921	921
壮瞥町	21	417	408	386	179	19	1,430	72	1,502	1,502
白老町	148	2,420	2,174	2,123	1,572	58	8,495	397	8,892	8,892
早来町	60	547	854	486	452	40	2,439	102	2,541	2,541
追分町	31	290	435	862	420	11	2,049	68	2,117	2,117
厚真町	73	527	1,079	642	442	51	2,814	97	2,911	2,916
鵒川町	46	679	751	823	851	22	3,172	94	3,266	3,266

町 村 名	吉野悦子 (諸・新)	小川勝也 (新進・新)	木本由孝 (自・新)	すがの久光 (社・現)	高崎ゆう子 (共・現)	前谷 宏 (無・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者数
穂 別 町	53	401	465	703	349	25	1,996	68	2,064	2,065
<b>胆振支庁計</b>	<b>604</b>	<b>7,437</b>	<b>8,390</b>	<b>8,193</b>	<b>5,403</b>	<b>339</b>	<b>30,366</b>	<b>1,247</b>	<b>31,613</b>	<b>31,621</b>
日 高 町	18	266	345	457	231	13	1,330	45	1,375	1,375
平 取 町	69	515	845	1,078	529	28	3,064	121	3,185	3,185
門 別 町	100	1,007	1,435	1,456	1,015	41	5,054	191	5,245	5,245
新 冠 町	33	581	719	720	445	33	2,531	107	2,638	2,638
静 内 町	132	2,120	2,393	2,566	1,755	80	9,046	284	9,330	9,331
三 石 町	34	334	770	657	442	23	2,260	79	2,339	2,339
浦 河 町	117	1,173	1,602	2,477	1,424	60	6,853	239	7,092	7,092
様 似 町	37	695	909	881	378	24	2,924	166	3,090	3,090
え り も 町	47	590	987	705	532	26	2,887	113	3,000	3,000
<b>日高支庁計</b>	<b>587</b>	<b>7,281</b>	<b>10,005</b>	<b>10,997</b>	<b>6,751</b>	<b>328</b>	<b>35,949</b>	<b>1,345</b>	<b>37,294</b>	<b>37,295</b>
音 更 町	458	2,126	4,007	4,201	2,292	93	13,177	476	13,653	13,655
士 幌 町	63	463	1,035	1,076	625	29	3,291	105	3,396	3,396
上 士 幌 町	48	392	782	1,150	408	25	2,805	74	2,879	2,879
鹿 追 町	76	463	1,291	871	260	26	2,987	139	3,126	3,126
新 得 町	74	567	894	2,022	387	26	3,970	135	4,105	4,105
清 水 町	175	952	1,358	1,529	629	52	4,695	253	4,948	4,948
芽 室 町	154	1,138	2,069	1,902	1,204	96	6,563	205	6,768	6,768
中 札 内 村	45	328	580	846	278	24	2,101	50	2,151	2,151
更 別 村	49	225	627	535	185	13	1,634	60	1,694	1,694
忠 類 村	9	111	283	229	341	4	977	23	1,000	1,000
大 樹 町	67	424	1,243	947	446	24	3,151	93	3,244	3,244
広 尾 町	52	512	1,488	908	696	27	3,683	119	3,802	3,802
幕 別 町	266	1,243	2,050	3,170	1,674	66	8,469	242	8,711	8,711
池 田 町	92	742	957	1,845	440	23	4,099	115	4,214	4,214
豊 頃 町	111	423	684	731	235	18	2,202	63	2,265	2,265
本 別 町	106	586	1,224	1,997	601	32	4,546	136	4,682	4,683
足 寄 町	65	737	1,300	1,709	459	37	4,307	148	4,455	4,455
陸 別 町	39	286	650	784	259	38	2,056	57	2,113	2,113
浦 幌 町	69	679	1,280	1,276	406	37	3,747	125	3,872	3,873
<b>十勝支庁計</b>	<b>2,018</b>	<b>12,397</b>	<b>23,802</b>	<b>27,728</b>	<b>11,825</b>	<b>690</b>	<b>78,460</b>	<b>2,618</b>	<b>81,078</b>	<b>81,082</b>
釧 路 町	193	2,575	1,497	1,466	1,338	58	7,127	303	7,430	7,430
厚 岸 町	63	1,373	1,624	907	890	33	4,890	142	5,032	5,032

町 村 名	吉野悦子 (諸・新)	小川勝也 (新進・新)	木本由孝 (自・新)	すがの久光 (社・現)	高崎ゆう子 (共・現)	前谷 宏 (無・新)	有効投票数	無効投票数	投票総数	投票者数
浜 中 町	39	1,078	865	718	425	13	3,138	102	3,240	3,240
標 茶 町	74	1,478	735	1,213	752	30	4,282	172	4,454	4,454
弟 子 屈 町	66	1,441	811	1,159	436	23	3,936	204	4,140	4,140
阿 寒 町	43	1,196	577	579	360	14	2,769	107	2,876	2,876
鶴 居 村	16	1,015	77	169	135	7	1,419	41	1,460	1,460
白 糠 町	444	1,734	742	1,267	753	37	4,977	128	5,105	5,105
音 別 町	126	762	347	266	223	28	1,752	77	1,829	1,829
釧路支庁計	1,064	12,652	7,275	7,744	5,312	243	34,290	1,276	35,566	35,566
別 海 町	246	1,743	2,245	1,199	960	67	6,460	186	6,646	6,646
中 標 津 町	161	2,279	1,579	2,111	723	58	6,911	332	7,243	7,244
標 津 町	61	755	736	778	357	31	2,718	87	2,805	2,806
羅 白 町	56	647	855	521	256	12	2,347	84	2,431	2,432
根室支庁計	524	5,424	5,415	4,609	2,296	168	18,436	689	19,125	19,128
町 村 計	12,417	131,775	170,927	173,190	93,530	5,560	587,399	22,594	609,993	610,038
全 道 計	40,106	511,139	488,807	563,029	392,714	21,716	2,017,511	67,658	2,085,169	2,085,300

※資料：北海道選挙管理委員会

## 6月のメモ

- 8日 ○格差2.82倍は合憲 1票の格差が最大2.82倍だった93年の衆院選をめぐり、全国21選挙区の有権者が各都府県選管に選挙の無効（やり直し）を求めた計26件の訴訟の上告審判決で、最高裁第一小法廷は「選挙当時は違憲状態ではなかった」として有権者側の上告を棄却した。しかし、5人の裁判官のうち2人は違憲とする反対意見を述べた。
- 15日 ○深名線廃止を承認 運輸審議会は、JR北海道から申請の出ていた深名線の廃止を承認した。これを受けて16日に運輸省が同線廃止を許可。同線は9月3日限りで廃止され、代替バスが同4日から運行される。
- 21日 ○銀行員が全日空機をハイジャック 東京の信託銀行員(53)が山形県上空で羽田発函館行きの857便を乗っ取り、函館空港に着陸。道警は事件発生から約15時間半後の22日未明、機内に警官隊を突入させ、銀行員をハイジャック防止法違反で現行犯逮捕、乗員乗客364人を救出した。犯行の動機は定かでないが、凶器はドライバー1本で、女性1人にけがをさせた。
- 23日 ●第2回定例道議会開会
- 25日 ○初の政党助成金額決定 自治省は初の政党助成金の年間交付金額（1995年分）を発表。主要9政党の総額は299億円。内訳は自民党132億円、新進党86億8千万円、社会党59億2千万円、新党さきがけ7億2千万円など。
- 29日 ○生産者米価据え置き 米価審議会（渡辺五郎会長）は、95年産米の政府買い入れ価格（生産者米価）を昨年と同じ60\*。当たり1万6392円に据え置くよう大河原農水相に答申した。据え置きは4年連続。
- 30日 ○オウム真理教に解散請求 東京地検と東京都は宗教法人法に基づき、オウム真理教（代表・麻原彰晃被告）が無差別殺人目的で組織的にサリン製造を企て、公共の福祉を害したなどとして、宗教法人の解散を東京地裁に請求した。

## 7月のメモ

- 3日 ○札幌開建が宿舍修繕費未払い 札幌開発建設部が今年3月以降に民間業者に発注した宿舍修繕工事の費用1855万円を支払っていないことが明らかになった。その後、開発局の調査で、同開建以外の12の全関連機関でも3-5月の工事分総額5000万円以上が未払いになっているずさんな経理の実態が分かり、同局は業務の改善を指示した。
- 6日 ○参院選公示 第17回参院選が公示され、比例代表に23政党の181人、選挙区に386人の計567人が立候補。投票は23日。今回から改選数が半減し2となる道選挙区には、新進党新人、自民党新人、社会党現職、共産党現職の有力4氏を含む6氏が立候補する激戦となった。
- 10日 ○スー・チーさん解放 ミャンマーの全権を握る国家法秩序回復評議会(SLORC)は1989年以来、自宅軟禁になっていた民主化運動指導者でノーベル平和賞受賞者のアウン・サン・スー・チーさんに対して無条件で軟禁処分を解除すると通告した。
- 17日 ●第2回定例道議会閉会
- 23日 ○参院選で与党不振 第17回参院選で、自民党は当初の公認だけでは46議席にとどまり、社会党も過去最低の16議席。与党3党は、さきがけの3議席を合わせて65議席と辛うじて改選過半数を確保した。新進党は改選数を倍増させる40議席を獲得、共産党も8議席と善戦した。道選挙区では社会党前職の菅野久光氏と新進党新人の小川勝也氏が当選した。道選挙区の投票率は46.92%と初めて50%を割り、過去最低を記録した。
- 24日 ○日の丸・君が代闘争から撤退 日教組の中央執行委員会は、日の丸・君が代闘争から事実上撤退する運動方針案を決定した。文部省との対立を解消し、教育改革などに協力して取り組むのが狙い。文部省首脳も歓迎しており、9月の大会で採択されれば両者が歴史的に和解することになる。

北海道議会時報 第47巻第3号

平成7年9月20日発行

編集 北海道議会事務局調査課

発行 北海道議会事務局